2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅰ（生物Ⅰ）

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	とどき　かずお 塗々木　和男	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	生物とは生きているもの、生命活動を営むものをいう。生命活動とは①自己保存（自身の生命を維持すること）と、②種族保存（子孫を残すこと、つまり生殖）のことである。生物Ⅰでは①植物機能（つまり生命維持に必要な機能：呼吸、循環、消化、排泄）について、生物Ⅱでは②動物機能（つまり積極的な生命活動の活用する機能：運動、感覚、免疫、生殖）と③生命の終焉についてのトピックスを交えて分かりやすく解説します。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	ヒトを対象とした生物学を学び、人間も環境に適応しながら生存する生物の一員であることを認識し、生命活動における植物機能の「生命維持機能」の基礎的仕組みを理解する。

【担当教員から】

教科書	特に指定しない
参考書	高校教科書の「生物」あるいは参考書
成績評価基準	定期試験:シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。 課題（レポート・小テスト等）：レポートであればルーブリック評価を用い、 小テストは授業時間内に実施し、各定期試験に反映させることがある。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験成績－－－－－－１００％ ※課題等がある学期には評価に加算する。
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して６０％以上で履修とする。 この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・生物Ⅰの単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０％以上の出席が必要です。 体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 全ての授業に通じる人体の正常な機能を学ぶため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	細胞の基本構造と生命活動	細胞の基本構造の特徴と生命活動について説明できる。	講義
	2	細胞の構成（水、タンパク質、脂質、糖質、無機物）		講義
	3	生命活動を支える物質（酵素と代謝、ATP）	生命維持のエネルギーと供給源を学ぶ。	講義
	4	生命の維持機構①（内部環境の恒常性）	生命維持のしくみについて説明できる。	講義
	5	生命の維持機構②（神経による調節）		講義
	6	生命の維持機構③（ホルモンによる調節）		講義
	7	生命の維持機構④（血液）		講義
	8	生命の維持機構⑤（循環）		講義
	9	生命の維持機構⑥（外呼吸・内呼吸）		講義
	10	生命の維持機構⑦（細胞呼吸）		講義
	11	生命の維持機構⑧（消化と吸収、栄養）		講義
	12	生命の維持機構⑨（消化と吸収、栄養）		講義
	13	生命の維持機構⑩（尿の生成）		講義
	14	生命の維持機構⑪（体温調節）		講義
	15	生命維持機構のまとめ(到達目標達成確認)		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅰ（生物Ⅱ）

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	ふくだ　ただし 福田　直	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	生物とは生きているもの、生命活動を営むものをいう。生命活動とは①自己保存（自身の生命を維持すること）と、②種族保存（子孫を残すこと、つまり生殖）のことである。生物Ⅰでは①植物機能（つまり生命維持に必要な機能：呼吸、循環、消化、排泄）について、生物Ⅱでは②動物機能（つまり積極的な生命活動の活用する機能：運動、感覚、免疫、生殖）と③生命の終焉についてのトピックスを交えて分かりやすく解説します。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	ヒトを対象とした生物学を学び、生命活動における動物機能の「運動」「感覚」「自己の防御」および生命の連続機能である「細胞分裂」「生殖・発生」と「遺伝」についての基礎的仕組みを理解する。

【担当教員から】

教科書	特に指定しない
参考書	高校教科書の「生物」あるいは参考書
成績評価基準	定期試験:シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。 課題（レポート・小テスト等）：レポートであればルーブリック評価を用い、 小テストは授業時間内に実施し、各定期試験に反映させることがある。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験成績－－－－－－１００％ ※課題等がある学期には評価に加算する。
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して６０％以上で履修とする。 この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・生物Ⅱの単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０％以上の出席が必要です。 体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 全ての授業に通じる人体の正常な機能を学ぶため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	環境への適応①（筋肉の収縮と調節）	身体の支持と運動について説明できる。	講義
	2	環境への適応②（運動と姿勢調節：反射）		講義
	3	環境への適応③（体性感覚）	外部環境からの情報受容（感覚）と防衛（生体防御）について説明できる。	講義
	4	環境への適応④（内臓感覚）		講義
	5	環境への適応⑤（嗅覚と味覚）		講義
	6	環境への適応⑥（聴覚と前庭感覚）		講義
	7	環境への適応⑦（嗅覚）		講義
	8	環境への適応⑧（嗅覚）		講義
	9	環境への適応⑨（生体防御）		講義
	10	生命の連続性①（体細胞分裂と減数分裂）	生命の継続のしくみ（細胞分裂・生殖・発生・遺伝）について説明できる。	講義
	11	生命の連続性②（有性生殖と無性生殖）		講義
	12	生命の連続性③（メンデルの遺伝の法則）		講義
	13	生命の連続性④（遺伝情報とその発現）		講義
	14	生命の連続性⑤（生命の終焉、老化・寿命）		講義
	15	動物性機能と生命の連続性のまとめ（到達目標達成確認）		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅰ（コミュニケーション心理学）

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	ふくだ　ただし 福田　直	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	人間の行動を心理学の観点から理解するための基礎知識を習得する。 心理の基本的なメカニズムを理解し、人間関係や人間行動への関わりへの影響を学習する。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	心理学の期本概念を正確に理解し、授業で習得した知見に基づき、心理に対する理解を深める。 自分のパーソナリティの特徴を知る。

【担当教員から】

教科書	必要に応じてプリントの配布、資料の提示などを行う。
参考書	参考書に関しては必要に応じて、授業中に指示する。
成績評価基準	定期試験:シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。 課題（レポート・小テスト等）：レポートであればルーブリック評価を用い、 小テストは授業時間内に実施し、各定期試験に反映させることがある。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験成績ーーーーーー１００％ ※課題等がある学期には評価に加算する。
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して６０％以上で履修とする。 この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・コミュニケーション心理学の単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０％以上の出席が必要です。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 学習したことを確実に習得すること。レポート、課題は期限内に提出すること。 講義時に疑問等が生じた場合は調べたり、確かめる態度を持ったり、質問すること。 予習→授業→復習のサイクルを守るように。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	オリエンテーション, 心理学とその歴史	心理学の基本概念を正確に理解する。	講義
	2	様々な心理学		講義
	3	感覚と心理学 ①感覚・知覚	授業で学習した知見に基づき、心理に対する理解を深める。	講義
	4	②認知―認識のしくみと認知の発達		講義
	5	③記憶―記憶のメカニズム、忘却		講義
	6	発達心理 ①発達の定義と様相		講義
	7	②発達段階区分と発達障害		講義
	8	③知能・人格の発達, アイデンティティの確立		講義
	9	④動機づけ・欲求と感情		講義
	10	⑤学習		講義
	11	性格心理と自己理解	自分のパーソナリティの特徴を知る。	講義
	12	臨床心理 ①健康とストレス、心身の病		講義
	13	②適応・不適応、適応障害		講義
	14	③カウンセリング・心理療法		講義
	15	期末実技（到達目標達成確認）試験		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅰ（文章表現･読解法）

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	かわい　けんじ 河井　謙治	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	１）文章作成の実践指導及び小論。 ２）文の添削・批評を中心に展開する。したがって、学生主体に繰り広げたいと考えているので、積極的な参加と不断の努力を望む。 ３）その場で「読み・書き」の課題（テーマ）を出す。主に前半は読解に努め、後半は各自に作文してもらう。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	昔から「読み･書き･そろばん」が教育の根本だと言われる。そこで本科目では多様なジャンルの小品を読み（読解）、筆者の主張のまとめ及びそれに対する各自の主張を書くこと（表現）ができるようにしたい。つまり、事実を正確に伝える文章力の養成を目標とする。

【担当教員から】

教科書	教科書などは使用せず、必要に応じて関連のプリントを配布する。
参考書	国語辞典、場合によっては漢和辞典は必携です
成績評価基準	1）課題等の提出状況及び小論文（ルーブリック評価等） 2）1)とは別に隔週一回、新聞のコラム欄を使って、要旨のまとめ、その論に対する各自の考えをまとめて提出してもらいます(自宅学習用)。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合(%)） 課題(レポート等)提出－－１００％ ※上記の 1)～2)の総合成績で評価する。
履修の条件 留意点	期末試験、課題の評価を合計して６０％以上で履修とする。 この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・文章表現･読解法の単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０％以上の出席が必要です。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 「ものを読み、あるテーマについて書く」という行為は、実は大変な難行苦行を伴うものであり、一朝一夕には会得できないものです。したがって、常に興味･関心事を集めるためのアンテナを張り巡らし、知識や情報を収集することが肝要です。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	ガイダンス・小論文「自己を見つめる」	書くための基礎力、構成力、文章の展開と表現力をつける。	講義
	2	友人関係。小論文「友達との付き合い方」		講義
	3	自分の立ち位置を考える。敬語の学習①		講義
	4	自分の立ち位置を考える。敬語の学習①		講義
	5	人口問題。小論文「高齢化社会」漢字演習		講義
	6	現代に生きる四字熟語とことわざ。漢字演習	現代社会での現象について状況を分析し、自分の意見を持ち、それを表現する。	講義
	7	怪我を考える。小論文「痛みに耐える」		講義
	8	社会生活。小論文「受動喫煙」。漢字演習		講義
	9	これからの未来。小論文「AI・自動運転」		講義
	10	現代社会を考える。小論文「マナーと規範」		講義
	11	手紙の学習。演習「未来の自分を設定する」		講義
	12	小論文「男女平等の考え方」。漢字演習		講義
	13	小論文「海外志向の動向と意見」。漢字演習		講義
	14	俳句川柳の鑑賞と創作。古典の学習。	現代社会を俳句・川柳で表現し、多様な考え方を共有し認め合う。	講義
	15	創作川柳の講評・社会を見つめる態度を養う。		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】形態機能学Ⅰ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	い　よんじゅん 李　英俊	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	生体の構造を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な構造が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な構造を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の構造について学習するとともに、その名称や機能についても学習する。

【担当教員から】

教科書	1.「解剖学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	1.「解剖学ワークブック」　医歯薬出版(株) 2.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 1. 期末(到達目標達成確認)試験(年度末試験含む)：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業の中で特に赤字で示されているような重要な個所は、「教科書にチェック」して確認すると同時に、 自分なりの「まとめ」を作成することをおすすめします。
オフィスアワー	授業開講日の 12：50～13：20　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	運動器の基礎	主要関節の構造及び運動を説明できる。	講義
	2	上肢の骨格系	全身の基本骨格の名称を述べることができる。 関節の形態と運動の仕組みを理解できる。 骨格筋の構造を理解できる。	講義
	3	上肢の骨格系		講義
	4	上肢の筋		講義
	5	上肢の運動		講義
	6	下肢の骨格系		講義
	7	下肢の骨格系		講義
	8	下肢の筋		講義
	9	下肢の運動		講義
	10	体幹の骨格系		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	頭部の骨格系	頭部・体幹部の基本骨格の名称を述べることができる。 関節の形態と運動の仕組みを理解できる。 骨格筋の構造を理解できる。	講義
	14	頭部・体幹の筋		講義
	15	頭部・体幹の運動		講義
	16	中枢神経系	中枢神経系の構成と各構造を理解できる。	講義
	17	中枢神経系		講義
	18	中枢神経系		講義
	19	末梢神経系	末梢神経を神経叢ごとに分類ができる。 末梢神経系の走行を理解できる。	講義
	20	末梢神経系		講義
	21	末梢神経系		講義
	22	末梢神経系		講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	循環器系	心臓の構造を理解できる。 大血管とその枝の走行を理解できる。	講義
	26	循環器系		講義
	27	循環器系		講義
	28	呼吸器系	呼吸器系の構成と理解できる。肺・気管支の構造を理解できる。	講義
	29	消化器系	消化器系の構成と各構造を理解できる。 腹膜の構造を理解できる。	講義
	30	消化器系		講義
	31	泌尿器系	泌尿器系の構成と各構造を理解できる。	講義
	32	生殖器系	生殖器系の構成と各構造を理解できる。	講義
	33	内分泌系	内分泌器系の構成と各構造を理解できる。	講義
	34	感覚器系	感覚器の構成と各構造を理解できる。	講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】形態機能学Ⅱ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	たけい　よしゆき 武井　良之	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	生体の機能を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な機能が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な機能を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の機能について学習するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	1.「生理学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	1.「標準生理学」　医学書院 2.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験、授業振り返りシートの内容を総合的に評価する。 授業振り返りシート：ルーブリック評価を用いる。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験の成績(年度末試験含む)：８０% 授業振り返りシート：２０%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験､授業振り返りシートの評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	生理学の基礎①	細胞膜と細胞小器官の構造と機能を説明できる。 物質の移動や体液のイオン組成・pH の仕組みを説明できる。	講義
	2	生理学の基礎②		講義
	3	消化と吸収①	消化管の運動の仕組みを説明できる。 消化液の種類とその分泌調節について説明できる。 栄養素の吸収の仕組みを説明できる。 肝臓の機能を説明できる。	講義
	4	消化と吸収②		講義
	5	消化と吸収③		講義
	6	栄養と代謝①	栄養素の種類を説明できる。代謝の仕組みを理解できる。	講義
	7	体温とその調節①	熱産生と熱放散の要因を説明できる。	講義
	8	体温とその調節②	発汗調節と体温調節の障害を説明できる。	講義
	9	血液の生理学①	血液の組成とその働きを説明できる。	講義
	10	血液の生理学②	止血・血液凝固の仕組みを説明できる。血液型の違いを説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	循環の生理学①	循環の調節（刺激伝導系・心周期）を説明できる。	講義
	14	循環の生理学②	血管の種類を説明できる。血圧の要因を説明できる。	講義
	15	循環の生理学③	循環調節の仕組み（圧受容器反射・化学受容器反射）を説明できる。	講義
	16	呼吸の生理学①	呼吸の目的を理解し換気とガス交換を説明できる。	講義
	17	呼吸の生理学②	呼吸運動とその調節・異常呼吸を説明できる。	講義
	18	尿の生成とその排泄①	老廃物の処理の過程（尿生成）を説明できる。	講義
	19	尿の生成とその排泄②	腎臓における体液調節と排尿の仕組みを説明できる。	講義
	20	内分泌の機能①	ホルモンの一般的特徴を説明できる。	講義
	21	内分泌の機能②	視床下部・下垂体・甲状腺のホルモンの働きを説明できる。	講義
	22	内分泌の機能③	膵臓・副腎・性腺のホルモンの働きを説明できる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	生殖	男性生殖器・女性生殖器の働きを説明できる。	講義
	26	神経系の機能①	神経細胞の興奮と伝導を説明できる。	講義
	27	神経系の機能②	シナプスの構造と特徴・神経伝達物質を説明できる。	講義
	28	神経系の機能③	脳神経・脊髄神経・自律神経の働きを説明できる。	講義
	29	神経系の機能④	脊髄・脳幹・小脳・大脳の働きを説明できる。	講義
	30	筋肉の機能①	骨格筋の働きと筋収縮の仕組みを説明できる。	講義
	31	筋肉の機能②	骨格筋の神経支配・運動の調節を説明できる。	講義
	32	感覚の生理学①	感覚の種類と情報を受容する仕組みを理解できる。	講義
	33	感覚の生理学①	特殊感覚（視覚・平衡聴覚）を説明できる。	講義
	34	感覚の生理学②	痛覚と伝導路を説明できる。	講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門基礎分野 保健医療福祉とはり、きゆうの理念

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】保健と医療Ⅰ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	あいだ　のりこ 相田　典子	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	公衆衛生学とは健康を維持増進させる学問である。理想的な健康像とはどういうことなのか、健康管理は個人や行政ではどのように考え、実践されているか、地球温暖化などの地球的規模の環境問題から空気・水・食品など私達を取り巻く生活環境に関する知識、職業がどのように健康に影響を与えるのか、生活習慣病の実態と予防はどうなっているのかといったことなどを学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	責任感を持ってはり師、きゅう師としての業務を行うために、わが国の衛生状況の概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	１.「衛生学・公衆衛生学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「国民衛生の動向」　厚生統計協会 ２.「公衆衛生がみえる」　メディックメディア
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験(年度末試験含む)：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・保健医療福祉とはり、きゆうの理念・保健と医療Ⅰ専門基礎分野・人体の構造と機能・形態機能学Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業ではノートを取ったり、プリントに記入したりしながら、話をよく聴いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	衛生・公衆衛生の意義	衛生学・公衆衛生学について概説できる。	講義
	2	健康の概要、健康増進、疾病予防	WHO の健康の定義を言うことができる。１～３次予防を分類できる。 健康増進法や健康日本 21 について概説できる。	講義
	3	集団検診	集団検診について概説し、望ましい条件を述べられる。	講義
	4	衛生行政	産業保健・学校保健・地域保健の行政について概説できる。 保健所・市町村保健センターの業務を説明できる。	講義
	5	食品と栄養	国民栄養調査を基に栄養摂取状況等を概説できる。BMI を算出できる。	講義
	6	寄生虫	寄生虫の種類を挙げ、概説できる。	講義
	7	食中毒①	食中毒の原因を挙げ、概説できる。食中毒の現状を説明できる。	講義
	8	食中毒②		講義
	9	感染の定義、分類	院内感染、不顕性感染、垂直感染の意味を言うことができる。 性行為感染症や輸入感染症を挙げられる。	講義
	10	感染源	感染源を挙げ、概説できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説･解答　まとめ		講義
２期	13	感染症法	感染症法・検疫法について説明できる。	講義
	14	感染経路	感染経路を挙げ、概説できる。	講義
	15	予防接種	ワクチンの種類を挙げ、概説できる。定期の予防接種について説明できる。	講義
	16	環境衛生①	空気の正常成分・異常成分を概説できる。 照明などの環境衛生について概説できる。	講義
	17	環境衛生②		講義
	18	地域の環境衛生①	わが国の上水道・下水道について方法や問題点を概説できる。 上水の水質基準・下水の水質基準を挙げられる。	講義
	19	地域の環境衛生②		講義
	20	廃棄物	リサイクル法を挙げ、概説できる。	講義
	21	物理的環境	気温、気流、輻射熱等を測定する機器を挙げられる。 電離放射線と非電離放射線を挙げられる。	講義
	22	化学的環境	環境を汚染する化学物質を挙げられる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説･解答　まとめ		講義
３期	25	生物学的環境	生物学的環境要因を概説できる。し尿処理について概説できる。	講義
	26	室内環境の測定機器	室内環境の測定機器の使用方法がわかる。	演習
	27	公害	環境基本法による７大公害を挙げ、公害訴訟を概説できる。	講義
	28	産業保健	労働安全衛生法について説明できる。業務上の疾病を挙げ、概説できる。	講義
	29	精神保健・身体障害者等の保健	精神障害者保健福祉法に基づく入院の種類を挙げ、概説できる。 精神科における入院受療率及び外来受療率の高い疾患を挙げられる。	講義
	30	母子保健	母子保健法や母子保健の統計を概説できる。	講義
	31	成人・高齢者保健	特定健康診査について概説できる。 日本人の死因や年齢調整死亡率の高いガンについて説明できる。	講義
	32	学校保健	学校保健安全法について概説できる。学校感染症について説明できる。	講義
	33	疫学	疫学の種類について概説できる。 前向き研究と後向き研究の利点と欠点に説明できる。	講義
	34	国際保健	国際交流と国際協力の違いを説明できる。 わが国の政府開発援助(ODA)について概説できる。	講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説･解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　基礎はり学基礎きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】東洋医学Ⅰ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	さかもと　たつのり 坂本　辰徳	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学の沿革について学ぶ。また東洋医学の基本的な考え方である陰陽学説や五行学説をもとに、精・気・血・津液の生理・病理・病証、六臓六腑の生理・病理・病証や経絡についても学ぶ。病気を引き起こす原因についても東洋医学的に学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	東洋医学の概念を診断、治療に結びつけられる様になるために、東洋医学における人体の構造機能の基礎知識の概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編
参考書	
成績評価基準	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験、小テスト・レポートを総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：９０% ２．小テスト・レポート：１０%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、小テスト・レポートの評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・基礎はり学基礎きゅう学・東洋医学Ⅰ単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 東洋医学の考え方による治療法を学ぶため､授業の予習･復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	東洋医学の歴史	1. 東洋医学の起源について説明できる。 2. 東洋医学の成立と発展について説明できる。 3. 日本における東洋医学の歴史と日中交流史について説明できる。	講義
	2	人と自然の統一性	1. 天人合一思想について説明できる。 2. 陰陽学説について説明できる。 3. 五行学説について説明できる。	講義
	3	陰陽学説の基本内容と運用	1. 陰陽の相互関係について説明できる。 2. 人体における陰陽について説明できる。 3. 病と陰陽について説明できる。 4. 診断治療における陰陽について説明できる。	講義
	4	五行学説の基本内容	1. 五行学説の基本内容について説明できる。	講義
	5	東洋医学における五行学説の運用①	1. 自然界の五行について説明できる。 2. 人体の五行について説明できる。	講義
	6	東洋医学における五行学説の運用②	1. 人体の五行について説明できる。 2. 飲食物の五行について説明できる。	講義
	7	精の生理と病理	1. 精の生理について説明できる。 2. 精の病理について説明できる。	講義
	8	気の生理と病理	1. 気の生理について説明できる。 2. 気の病理について説明できる。	講義
	9	血の生理と病理 津液の生理と病理	1. 血の生理について説明できる。 2. 血の病理について説明できる。 3. 津液の生理について説明できる。 4. 津液の病理について説明できる。	講義
	10	生理物質の相互関係 神の生理と病理 陰陽の生理と病理	1. 生理物質の相互関係について説明できる。 2. 神の生理について説明できる。 3. 神の病理について説明できる。 4. 陰陽の生理について説明できる。 5. 陰陽の病理について説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	蔵象学説、肝の生理と病理と病証	1. 蔵象学説について説明できる。 2. 肝の生理について説明できる。 3. 肝の病理と病証について説明できる。	講義
	14	胆の生理と病理と病証	1. 胆の生理について説明できる。 2. 胆の病理と病証について説明できる。 3. 肝と胆の相互関係について説明できる。	講義
	15	心の生理と病理と病証	1. 心の生理について説明できる。 2. 心の病理と病証について説明できる。	講義
	16	小腸の生理と病理と病証	1. 小腸の生理について説明できる。 2. 小腸の病理と病証について説明できる。 3. 心と小腸相互関係について説明できる。	講義
	17	脾の生理と病理と病証	1. 脾の生理について説明できる。 2. 脾の病理と病証について説明できる。	講義
	18	胃の生理と病理と病証	1. 胃の生理について説明できる。 2. 胃の病理と病証について説明できる。 3. 脾と胃の相互関係について説明できる。	講義
	19	肺の生理と病理と病証	1. 肺の生理について説明できる。 2. 肺の病理と病証について説明できる。	講義
	20	大腸の生理と病理と病証	1. 大腸の生理について説明できる。 2. 大腸の病理と病証について説明できる。 3. 肺と大腸の相互関係について説明できる。	講義

	21	腎の生理と病理と病証	1. 腎の生理について説明できる。 2. 腎の病理と病証について説明できる。	講義
	22	膀胱の生理と病理と病証 三焦の生理	1. 膀胱の生理について説明できる。 2. 膀胱の病理と病証について説明できる。 3. 腎と膀胱の相互関係について説明できる。 4. 腎と関係のある奇恒の腑について説明できる。 5. 三焦の生理ついて説明できる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	五臓の相互関係①	1. 心・脾・肝の相互関係について説明できる。 2. 心・肺・脾の相互関係について説明できる。 3. 肺・脾・腎の相互関係について説明できる。	講義
	26	五臓の相互関係②	1. 脾・肝・腎の相互関係について説明できる。 2. 肺・脾・肝の相互関係について説明できる。 3. 心・脾・腎の相互関係について説明できる。	講義
	27	五臓の相互関係③ 六腑の協調関係	1. 六腑の協調関係の生理について説明できる。 2. 六腑の協調関係の病理について説明できる。	講義
	28	全身の気機	1. 五臓の関連領域の気機について説明できる。 2. 気機の相互関係について説明できる。	講義
	29	経絡の概念、経絡の機能 経絡の構成①	1. 経絡の概念について説明できる。 2. 経絡の機能について説明できる。	講義
	30	経絡の構成②	1. 経脈について説明できる。	講義
	31	外感病因	1. 外感病因について説明できる。	講義
	32	内傷病因	1. 内傷病因について説明できる。	講義
	33	病理産物とその他の要因	1. 病理産物とその他の要因について説明できる。	講義
	34	まとめ		講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　基礎はり学基礎きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】東洋医学Ⅱ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	い　よんじゅん 李　英俊	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	はき師において臨床では経穴を取穴出来ることは必須である。体表解剖・取穴実習では実際の身体で正確に経穴を取穴していくことを学び、ここでは経脈の名称や流注、経穴の名前を順番通りに覚え、さらに経穴の部位を正確に覚えることによって、取穴するために必要な経絡経穴の知識を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	はき臨床において正確に取穴を行うために、全身を流れている経絡、全身に存在する経穴の概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．ＷＨＯ/ＷＰＲＯ 標準経穴部位日本語公式版（医道の日本社） ２．東洋医学概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを定期試験で総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．定期(到達目標達成確認)試験で評価：90% ２．小テストでの評価：10%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験、小テスト・レポートの評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・基礎はり学基礎きゅう学・東洋医学Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 東洋医学を理解し治療を行うための最も基本となるものである為、積極的な学習姿勢が望まれます。経絡経穴の名称や部位をしっかり覚えないと国家試験合格や臨床に対応できません。覚えるのに時間のかかる教科なので毎日短時間でもいいのでコツコツ勉強していきましょう。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	正経十二経脈の名称 奇経八脈の種類 経脈の流注	正経十二経脈の名称、流注を概説できる。 奇経八脈の名称を概説できる。	講義
	2	経絡・経穴の基礎 骨度法 体表指標	経絡・経穴の種類について概説できる。 骨度法 体表指標を概説できる。	講義
	3	督脈①	督脈の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	4	督脈②	督脈の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	5	任脈①	任脈の流注の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	6	任脈② 手の太陰肺経①	任脈の流注の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。 手の太陰肺経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	7	手の太陰肺経② 手の陽明大腸経①	手の太陰肺経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。 手の陽明大腸経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	8	手の陽明大腸経②	手の陽明大腸経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	9	足の陽明胃経①	足の陽明胃経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	10	足の陽明胃経②	足の陽明胃経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	足の陽明胃経③	足の陽明胃経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	14	足の太陰脾経①	足の太陰脾経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	15	足の太陰脾経② 手の少陰心経	足の太陰脾経に所属する経穴名・部位を概説できる。 手の少陰心経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	16	手の太陽小腸経	手の太陽小腸経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	17	足の太陽膀胱経①	足の太陽膀胱経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	18	足の太陽膀胱経②	足の太陽膀胱経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	19	足の太陽膀胱経③	足の太陽膀胱経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	20	足の太陽膀胱経④	足の太陽膀胱経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	21	足の少陰腎経①	足の少陰腎経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	22	足の少陰腎経②	足の少陰腎経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	手の厥陰心包経 手の少陽三焦経①	手の厥陰心包経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。 手の少陽三焦経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	26	手の少陽三焦経②	手の少陽三焦経に所属する経穴名と部位を概説できる。	講義
	27	足の少陽胆経①	足の少陽胆経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	28	足の少陽胆経②	足の少陽胆経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	29	足の少陽胆経③	足の少陽胆経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	30	足の厥陰肝経①	足の厥陰肝経の流注と所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	31	足の厥陰肝経②	足の厥陰肝経に所属する経穴名・部位を概説できる。	講義
	32	奇穴①	奇穴の部位と主治を概説できる。	講義
	33	奇穴②	奇穴の部位と主治を概説できる。	講義
	34	奇穴	奇穴の部位と主治を概説できる。	講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　臨床はり学臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき概論Ⅰ

【基本情報】

配当年次	１学年	担当教員	ふかやま　ちとせ 深山　千歳（実務経験有り）	
単位数	１単位			
開講学期	１学期	授業形態･回数	講義	12 学期

【授業情報】

授業概要	担当講師の外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、はり、きゅうの施術で用いる手技や道具に関する事柄や衛生概念を理解させ、系統的な「はり」「きゅう」の各施術をおこなうための基礎的理論を学習させる。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	衛生的で安全な鍼灸臨床を行うために、鍼・灸の基本知識、施術の意義、基本手技を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験、授業振り返りシートの内容※を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．定期（到達目標達成確認）試験の成績(年度末試験含む)：８０% ２．授業振り返りシート※：２０%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験､授業振り返りシートの評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・臨床はり学臨床きゅう学・はき概論Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	1. 概論：鍼灸施術の意義、鍼灸治療の特徴（治療効果が期待される疾患・症状）	・鍼灸施術の、意義・特徴を説明できる。 ・ＷＨＯ、ＮＩＨによる鍼灸施術の効果が期待される疾患・症状を挙げられる。 ・日本における健康保険適応疾患を挙げられる。	講義
	2	2. 鍼の基礎知識：用具・鍼と鍼管	・鍼施術で用いる用具（毫鍼と鍼管）について説明できる。 ・古代九鍼について名称、分類を説明できる。	講義
	3	3. 刺鍼の方式と術式：刺鍼の方法、刺鍼の術式（刺針中の術式）	・刺鍼の方式を説明できる。 ・刺鍼中の術式（17 種類）を挙げられ、それぞれ説明できる。	講義
	4	3. 刺鍼の方式と術式：刺鍼の術式（刺針中の術式）	・刺鍼中の術式（17 種類）を挙げられ、それぞれ説明できる。	講義
	5	4. 特殊鍼法：小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、灸頭鍼、低周波通電療法、その他	・特殊鍼法について、その種類を挙げられ、それぞれ説明できる。	講義
	6	5. 灸の基礎知識：灸の材料、艾の製造方法、線香	・灸の材料について、説明できる。 ・灸の製造過程を理解し、説明できる。 ・線香について、材料やサイズを説明できる。	講義
	7	6. 灸術の種類：有痕灸、無痕灸	・灸術の種類を説明できる。 ・有痕灸と無痕灸について、その違いとそれぞれの種類を説明できる。	講義
	8	7. 鍼灸の臨床応用：刺激量、感受性、鍼灸療法の適応症	・鍼灸施術における、刺激量、感受性を説明できる。 ・鍼灸施術が適応となる場合や疾患（症状）を挙げられる。 ・鍼灸施術が不適応・禁忌となる場合や疾患（症状）を挙げられる。	講義
	9	8. リスク管理：リスク管理の基本、鍼療法の過誤と副作用	・鍼灸施術のリスクを理解し、説明できる。 ・鍼施術の過誤と副作用について、説明できる。 ・灸施術の過誤と副作用について、説明できる。	講義
	10	8. リスク管理：消毒	・施術における感染症対策について、その種類と目的を理解し、説明・実践できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】専門分野　臨床はり学臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき概論Ⅱ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	たけい　よしゆき 武井　良之（実務経験有り）	
単位数	1 単位			
開講学期	1 期	授業形態･回数	講義・演習	12 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸臨床において衛生的操作に対する考え方について、古くは皮膚への侵襲が極めて少ないことを逆手に満足な衛生管理をされないままの臨床が一部行われていた。近年、感染予防に関する衛生管理はどの分野でも注目され実践されてきている。いわゆる“あはき法”に記されている鍼施術に対する消毒操作の義務に限らず、医療に携わる一員として医療における最低限度の感染防御は出来なければならないと考えられる。そこで、ここでは担当講師が外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、標準予防策に準ずる衛生管理と、鍼灸臨床において患者と施術者双方を守ることを主眼においた衛生的な知識と技術を教授する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	衛生的で安全な鍼灸臨床を実践するために、衛生管理と感染防御に関する知識と技能を身につける。

【担当教員から】

教科書	１.「衛生学・公衆衛生学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	適宜、提示します
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験と、授業態度※を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．手洗い・手指消毒の実技(到達目標達成確認)試験：50% ２．衛生管理・消毒法の筆記(到達目標達成確認)試験：50%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目・実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・臨床はり学臨床きゅう学・はき概論Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．授業回数により授業場所が異なる為、毎回確認をしてください。 ２．欠席、遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなくペアとなるクラスメイトにも迷惑をかけます。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には十分留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	１．医療における衛生管理とは ２．衛生上のリスク管理	医療における衛生管理の必要性が理解できる。 鍼灸臨床に関わる衛生上のリスクを理解し、リスク管理の方法が説明できる。	講義
	2	３．手洗い概説	手指衛生の歴史が理解できる。 手洗いの必要性について説明できる。 手洗いの種類が説明できる。 あはき師に必要な手洗いが説明できる。	講義
	3	４．手洗い実技演習①	衛生的手洗い（スクラブ法）が実践できる。	演習
	4	６．消毒法について①	滅菌と消毒(殺菌)の違いを説明できる。 物理的消毒法の種類を説明できる。	講義
	5	６．消毒法について②	化学的消毒法の種類が説明できる。 種々の病原微生物に有効な消毒法が説明できる。	講義
	6	７．手洗い実技演習②	手指消毒（ラビング法）が実践できる。 患部消毒（スワブ法）が実践できる。	演習
	7	７．手洗い実技演習③	日常的手洗いによって洗い残りが発生しやすい箇所を説明できる。	演習
	8	まとめ（手洗い実技演習）		演習
	9	実技試験	（スクラブ法・ラビング法・スワブ法）	試験
	10	まとめ（消毒法）		演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験	（消毒法）	試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　臨床はり学臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき概論Ⅲ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	はたけやま　ひろのり 畠山 博式（実務経験有り）	
単位数	1 単位			
開講学期	3 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	担当講師の外部治療院や学校付属施術所での臨床研究経験を活かして、はき師としてＥＢＭに基づく臨床を行い、チーム医療の一翼を担うことが出来るようになるために、グループワークによるはき研究を通して、医療人としてのリテラシーと論理的思考（logical thinking）や批判的思考（critical thinking）を学習させる。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１．医療人としてのリテラシーについて、はき研究を通じて学習する。 ２．論理的思考（logical thinking)、批判的思考（critical thinking）を身に付け、医療人として、職業人としての態度を身に付ける。 ３．グループワークを通じてチームワークの重要性を感じ、卒後におけるチーム医療の視点を高める。

【担当教員から】

教科書	１．『リサーチ・クエッションの作り方』NPO 健康医療評価研究機構
参考書	１．『EBM の道具箱 第 2 版』中山書店 ２．『臨床研究の道標』NPO 健康医療評価研究機構 ３．『鍼灸臨床最新科学　メカニズムとエビデンス』医歯薬出版 ４．『体性-自律神経反射の生理学』丸善出版 ５．『やさしい自律神経生理学』中外医学社 ６．『論理トレーニング 101 題』産業図書 ７．『クリティカルシンキング 不思議現象篇』北大路書房
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかをレポートの内容にて評価する。 レポート：授業のテーマに沿って個人、もしくはグループにて演習を行わせて、その演習内容をレポートとして提出させる。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） レポート提出：１００%
履修の条件 留意点	レポート提出を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床はり学臨床きゅう学・はき概論Ⅲの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは共同作業にあたるクラスメイトへ迷惑がかかりますので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） ２年次の呉竹医学会での研究発表に繋がるテーマを探求するための授業ですので、クラス全員の連携が求められます。クラスメイトとコミュニケーションを積極的に取り、協調して授業に挑んでください。 テーマについては、学内選考を経て、学校協会や学会での発表にも発展させます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
３期	1	研究とは？臨床との関係性は？	臨床、症例報告、症例集積、観察研究、介入研究のステップと違いについてを理解して、臨床との関係性について説明できる。	講義
	2	臨床研究のＰＥＣＯとＰＩＣＯについて	臨床研究に必要なリテラシーや批判的思考について理解して、ＰＥＣＯとＰＩＣＯについて説明できる。	講義
	3	あいまいな疑問を考え、具体的な疑問にしてみる	ＰＥＣＯまたはＰＩＣＯを作ることができる（ＣＱからＲＱへ）。	演習
	4	疑問を揉んでみる（グループ分かれて小発表と意見交換）	客観的な意見の下、論理的、批判的に更にＲＱを考察してみる。また、グループワークを通じて、チームワークの重要性を認識できる。	演習
	5	研究デザインに求められる要件	実施可能性・切実な問題、測定可能、倫理的について検討できる。	演習
	6	論文検索法（先人に学ぶ）	自身の疑問に関する論文を検索して自身のデザインと比較して、分かっていることと分かっていないことを明確にすることができる。	演習
	7	測定方法	アウトカム（変数）の測定方法（尺度）について、各種質問票や評価表および学内にある計器（灸熱測定器･サーモグラフィ･深部体温計･基礎体温計など）を試用するなどして理解した上で検討できる。	演習
	8	疑問の構造化	先行研究、測定方法も加え、より具体的なＲＱを考察できる。	演習
	9	疑問の構造化	先行研究、測定方法も加え、より具体的なＲＱを考察できる。	演習
	10	あはき研究デザイン発表	各グループからの発表を行い、投票にて呉竹医学会で発表する研究デザイン案を決定できる。	演習
	11	呉竹医学会発表のあはき研究デザイン案の検討	呉竹医学会で発表する研究デザイン案をクラス全体で検討することができる。	演習
	12	クラス代表あはき研究デザイン発表	呉竹医学会で発表する研究デザインを決定し、クラス全体で再度検討することができる。	演習

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　専門分野　実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本はりきゅう実技Ⅰ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	ふくもと　あき 福本　彩季（実務経験あり）	
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、はり施術における基本刺鍼手技を習得させることを目的とする。前期の前半では、①片手で鍼と鍼管を扱う片手挿管の習得、②押手および刺手の意義や実際の方法の習得、③管鍼法の手順の習得について刺鍼練習台を用いて行う。前期後半において、手指・施術野の衛生的な処理操作を行い自らの身体に刺鍼をさせ、どのような感覚が生じるのかを体験させることにより、痛みの発生を抑制した刺鍼法を習得させる。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	正確かつ衛生的で安全に刺鍼を行えるようになるために、基本的な操作や鍼の基礎知識、必要な衛生学的知識、施術者としての心構えを修得する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論；東洋療法学校協会編（医道の日本社） ２．はりきゅう実技〈実技編〉第 2 版；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第 2 版；尾崎明弘著（医歯薬出版株式会社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験と、授業態度を総合的に評価する。 授業態度：授業毎の身だしなみ等の配慮の可不可、ペアでの練習時の受け手評価シートによる客観評価によって算定される。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験の成績：90% 授業態度の成績：10%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験と、授業態度※の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・実習・基本はりきゅう実技Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．技術習得ですので、毎日の反復練習を心掛けてください。 ２．少しずつレベルアップしていくためには毎回の授業内で確認が必要となるので、体調管理をしっかりと行い、欠席しないようにしてください。 ３．事故防止のため、指示された部位以外への刺鍼は禁止いたします。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	授業概要	鍼実技を進めるにあたっての心構えが理解できる。 鍼を扱うに当たってのリスク管理が理解できる。	実習
	2	刺鍼の基本手技（術式）の紹介	撚鍼法、打鍼法、管鍼法、接触鍼法について説明できる。	実習
	3	基本刺鍼練習（刺鍼練習台上での挿管法）	管鍼法の手順が説明できる。 片手挿管法を目視せずに行うことができる。 刺鍼練習台に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。 刺鍼するに当たって、姿勢正しく行うことができる。 鍼具を丁寧に取り扱うことができる。	実習
	4	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	5	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	6	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	7	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	8	基本刺鍼練習（片手挿管法・管鍼法）		実習
	9	期末実技(到達目標達成確認)試験	（刺鍼練習台への刺鍼、片手挿管法）	試験
	10	基本刺鍼練習（衛生操作）	清潔な施術環境（ハウスキーピング：施術用ワゴン、ベッド、枕やタオル、床など）について、その手順とその意味を説明でき、実行できる。(以降共通) 施術前後の基本的な消毒の手順とその意味を説明でき、実行できる。(以降共通) 自分の下腿に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	11	基本刺鍼練習（自己下腿前脛部）		実習
	12	基本刺鍼練習（自己下腿前脛部）		実習
	13	基本刺鍼練習（自己下腿前脛部）		実習
	14	基本刺鍼練習（自己下腿内側面）		実習
	15	基本刺鍼練習（自己下腿内側面）		実習
	16	基本刺鍼練習（自己下腿内側面）		実習
	17	期末実技(到達目標達成確認)試験	（自己下腿への刺鍼）	試験
	18	試験フィードバック		実習
後期	19	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿後面）	受け手の姿勢や枕の位置に配慮する事ができる。(以降共通) 自身の刺鍼しやすい姿勢・立ち位置で施術を行うことができる。(以降共通) 下腿後面に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	20	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿後面）		実習
	21	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿前面）		実習
	22	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿前面）		実習
	23	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿前面）	下腿前面に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	24	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿内側面）		実習
	25	基本刺鍼練習（対人刺鍼：下腿内側面）		実習
	26	期末実技(到達目標達成確認)試験	（対人刺鍼：腓腹筋部）	試験
	27	試験フィードバック		実習
	28	基本刺鍼練習（対人刺鍼：腰部）	腰部に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。 殿部に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	29	基本刺鍼練習（対人刺鍼：腰部）		実習
	30	基本刺鍼練習（対人刺鍼：腰殿部）		実習
	31	基本刺鍼練習（対人刺鍼：肩背部）	肩背部に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	32	基本刺鍼練習（対人刺鍼：肩背部）		実習
	33	基本刺鍼練習（対人刺鍼：肩背部）		試験
	34	基本刺鍼練習（対人刺鍼：腰部）	腰部に対して、毫鍼を決められた方向、深度に刺入できる。	実習
	35	期末実技(到達目標達成確認)試験	（対人刺鍼：腰部）	試験
	36	試験フィードバック		実習

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　専門分野　実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本はりきゅう実技Ⅱ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	くろだ　たつお 黒田　達夫（実務経験あり）	
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、きゅう施術における基本施灸手技を習得させることを目的とする。前期の前半では、刺鍼練習台や半竹筒を用いて、①モグサを捻り出す動作、②捻り出したモグサを切り取り施灸部位へ真っ直ぐ立つように置く動作、③艾炷が一定の大きさ（米粒大）に形成出来るようにさせ、④艾炷の作成速度を上げる訓練や艾炷の点火の仕方を習得させる。前期後半において、手指・施術野の衛生的な処理操作を行い自らの身体に施灸をさせ、どのような感覚が生じるのかを体験させることにより、熱痛の発生を抑制した施灸法を習得させる。後期からは、衛生的操作を含む半米粒大による対人施灸を修得させる。対人施灸の際には、医療過誤を引き起こすことがないよう施灸上の諸注意を理解し、過誤を未然に防ぐきゅう施術のスキルを身につけさせる。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	正確かつ衛生的で安全に施灸を行えるようになるために、基本的な操作や灸の基礎知識、必要な衛生学的知識、施術者としての心構えを修得する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論；東洋療法学校協会編（医道の日本社） ２．はりきゅう実技〈実技編〉第 2 版；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第 2 版；尾崎明弘著（医歯薬出版株式会社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験と、授業態度※を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験の成績：90% 授業態度の成績※：10% ※授業毎の身だしなみ等の配慮の可不可、ペアでの練習時の受け手評価シートによる客観評価によって算定される。
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験と授業態度を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・実習・基本はりきゅう実技Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）

	１．対人施灸練習までは刺鍼練習台と竹を用いた片手挿管法による施灸練習を行いますので、刺鍼練習台と竹を忘れないようにしてください。 ２．前期中間以降は自己下腿での施灸練習、後期からは対人刺鍼による刺鍼練習となりますので、事前に指示される内容をしっかり把握してください。 ３．技術習得ですので、毎日の反復練習を心掛けてください。 ４．少しずつレベルアップしていくためには毎回の授業内で確認が必要となるので、体調管理をしっかりと行い、欠席しないようにしてください。 ５．事故防止のため、指示された部位以外への施灸は禁止いたします。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	授業概要	鍼実技を進めるにあたっての心構えが理解できる。 鍼を扱うに当たってのリスク管理が理解できる。	実習
	2	施灸の基本手技（術式）の紹介 艾炷の作製	有痕灸、無痕灸について概説できる。 艾炷作成の為の指の使い方が理解できる。	実習
	3･4	刺鍼練習台上での艾炷（米粒大）作成	艾炷作成の手順が説明できる。 米粒大の艾炷を作成することができる。 刺鍼練習台の上に艾炷をまっすぐに据えることができる。 竹の上に艾炷をまっすぐに据えることができる。	実習
	5	半竹筒上での艾炷（米粒大）作成		実習
	6～9	半竹筒上での艾炷への点火	線香の取り扱いが理解でき、安全に扱うことができる。 灰除法と固定法の違いが説明できる。 艾炷への点火が適切にできる。 灰の処理が適切にできる。	実習
	10	中間実技（到達目標達成確認）試験	（竹上への米粒大の作成、艾炷への点火）	試験
	11	試験フィードバック 半竹筒上での艾炷への点火		実習
	12～15	基本施灸練習（自己踵部内側面）	清潔な施術環境（ハウスキーピング：施術用ワゴン、ベッド、枕やタオル、床など）について、その手順とその意味を説明でき、実行できる。**（以降共通）** 施灸前後の基本的な消毒の手順とその意味を説明でき、実行できる。**（以降共通）** 自分の下腿に対して、米粒大による八分施灸が適切にできる。	実習
	16	期末実技（到達目標達成確認）試験	（自己踵部内側面への八分灸）	試験
	17	試験フィードバック 半竹筒上での艾炷への点火	半米粒大の艾炷を作成することができる。	実習
後期	18	半竹筒上での艾炷（半米粒大）作成	半米粒大の艾炷を作成することができる。 竹の上に艾炷（半米粒大）をまっすぐに据えることができる。	実習
	19･20	半竹筒上での艾炷（半米粒大）作成	受け手の姿勢や枕の位置に配慮する事ができる。**（以降共通）** 自身の刺鍼しやすい姿勢・立ち位置で施術を行うことができる。**（以降共通）** 女膝穴・失眠穴へ適切に施灸することができる。	実習
	21	確認試験	（竹上への半米粒大の作成、艾炷への点火）	試験
	22～26	基本施灸練習（対人踵部）	受け手の姿勢や枕の位置に配慮する事ができる。**（以降共通）** 自身の刺鍼しやすい姿勢・立ち位置で施術を行うことができる。**（以降共通）** 女膝穴・失眠穴へ適切に施灸することができる。	実習
	27	確認試験	（対人施灸：女膝穴・失眠穴）	試験
	28･29	基本施灸練習（対人：下腿前面）	下腿前面に対して適切に施灸することができる。	実習
	30･31	基本施灸練習（対人：前腕外側）	前腕外側に対して適切に施灸することができる。	実習
	32	まとめ	（下腿前面・前腕外側への施灸）	実習
	33	期末実技（到達目標達成確認）試験	（対人施灸：足三里穴・手三里穴）	試験
	34	試験フィードバック		実習
	35･36	基本施灸練習（対人：下腿後面）	下腿後面に対して適切に施灸することができる。	実習

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　専門分野　実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】基本はりきゅう実技Ⅲ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	ふくもと　あき 福本　彩季（実務経験あり）	
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、鍼灸施術において臨床上必要不可欠な取穴を習得させることを目的とする。経絡経穴概論では、経脈の名称や流注、経穴の名前を順番通りに覚え、さらに経穴の部位を正確に覚えるが、ここでは体表解剖を学ぶことによって取穴するために必要な骨、筋肉、血管などを実際の身体で触れ位置関係を理解し、各経脈の流注の場所や経穴の部位を正確に取穴することを学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸臨床の場で十分活躍できるようになるために、体表から触れることのできる骨、筋肉、動脈拍動部の正確な触れ方と、経絡の流注及び経穴の取穴方法の実際を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社） ２．解剖学　第２版；東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１．運動療法のための機能解剖学的触診技術　上肢；(株式会社メジカルビュー社) ２．運動療法のための機能解剖学的触診技術　下肢・体幹；(株式会社メジカルビュー社) ３．ボディ・ナビゲーション；(医道の日本社) ４．よくわかる筋の機能解剖　第２版；(メディカル・サイエンス・インターナショナル) ５．触診解剖アトラス　頚部・体幹・上肢；(株式会社メジカルビュー)
成績評価基準	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験の成績：90% 授業態度の成績※：10% ※授業毎の身だしなみ等の配慮の可不可、ペアでの練習時の受け手評価シートによる客観評価によって算定される。
成績評価方法	実技(到達目標達成確認)試験と授業態度を合計して 60%以上で履修とする。この科目は専門分野・実習・基本はりきゅう実技Ⅲの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
履修の条件 留意点	１．実技試験、小テスト、授業態度の評価を合計して60%以上で履修とする。 ２．本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。 ３．欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）

	１．鍼灸施術の基本である取穴の実際を学習する科目です。体表部の観察や触診の要領と指先の触知力を高めるように心がけるとともに実習工技の内容を十分理解し、取穴の実際について指先と身体で覚えるように心がけて下さい。また、人体構造機能、経絡経穴概論とも密接な関連があるので、既習科目の理解を深めておくことが大切です。 ２．欠席、遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなくペアとなるクラスメイトにも迷惑をかけます。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には十分留意して下さい。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	体表解剖　概要	体表解剖とは何か概説できる。	実習
	2･3	下腿後面　体表解剖	膝窩動脈の拍動を確認できる。 下腿後面の筋肉を触診することができる。	実習
	4	下腿前面　体表解剖	下腿前面の骨の触診することができる。	実習
	5	下腿前面　体表解剖	下腿前面の筋肉の触診することができる。	実習
	6	大腿前面　体表解剖	大腿の骨、筋肉、動脈を説明できる。 大腿前面の筋肉、動脈拍動部を触診することができる。	実習
	7	大腿後面　体表解剖	大腿後面の筋肉を触診することができる。	実習
	8～10	腰殿部　体表解剖	腰殿部の骨、筋肉を説明できる。 腰殿部の筋肉を触診することができる。	実習
	11～13	上背部　体表解剖	上背部の骨、筋肉を説明できる。 上背部の筋肉を触診することができる。	実習
	14･15	上肢帯　体表解剖	上肢の骨、筋肉、動脈を説明できる。 上肢の筋肉、動脈拍動部を触診することができる。	実習
	16	頸部 顔面部 頭部　体表解剖	頸部、顔面部、頭部の骨、筋肉、動脈を説明できる。 頸部、顔面部、頭部の骨、筋肉、動脈拍動部を触診することができる。	実習
	17	期末実技(到達目標達成確認)試験	（四肢・体幹部の骨、筋肉、動脈拍動部の触知）	試験
	18	試験フィードバック		実習
後期	19	頸部 顔面部 頭部 体表解剖	頸部、顔面部、頭部の骨、筋肉、動脈を説明できる。 頸部、顔面部、頭部の骨、筋肉、動脈拍動部を触診することができる。	実習
	20	胸腹部 体表解剖	胸腹部の骨、筋肉を説明できる。 胸腹部の骨、筋肉の骨、筋肉を触診することができる。	実習
	21～23	下腿後面 流注 取穴	下腿後面にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 下腿後面の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	24	大腿前面、後面 流注 取穴	大腿にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 大腿の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	25･26	腰殿部 流注 取穴	腰殿部にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 腰殿部の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	27･28	上背部 流注 取穴	上背部にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 上背部の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	29･30	上肢帯 流注 取穴	上肢にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 上肢の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	31･32	頸部 顔面部 頭部 流注 取穴	頸部、顔面部、頭部にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 頸部、顔面部、頭部の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	33･34	胸腹部 流注 取穴	胸腰部にある主要な経穴名の読み方、取穴位置が説明できる。 胸腰部の経脈と骨・筋肉・血管・神経との位置関係を説明することができる。	実習
	35	期末実技(到達目標達成確認)試験	（四肢・体幹部の取穴）	試験
	36	試験フィードバック		実習

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　専門分野　臨床実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床実習Ⅰ

【基本情報】

配当年次	1 学年	主担当教員	はたけやま　ひろのり 畠山　博式	
単位数	1 単位			
開講学期	通期	授業形態･回数	臨床実習	45 時間

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、はりきゅう施術における基本的臨床能力を身につけさせるために付属施術所内にて臨床実習を行う。 主に附属はりきゅう施術所にて行う。はり・きゅう施術を実際に受けることで、これからどのような行為について学んでいくのかを認識する。また、教員、施術所スタッフの臨床を見学することで自らこれから何を学習するべきなのかの理解を深める。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	はり師・きゅう師を目指す学生としての自覚を深めるために、鍼灸医学を学ぶことへの関心を高める。また、優れた医療人になるため、学生として備えておくべき基本的態度・姿勢や基本的臨床技能を理解し、修得する。

【担当教員から】

教科書	
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかをポートフォリオ等下記の内容を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） ポートフォリオの提出：30% 実習班担当者の評価（ルーブリック評価）：50% ｽﾓｰﾙｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ（SGD）での発言・態度（ルーブリック評価）：20%
履修の条件 留意点	上記の成績評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床実習・臨床実習Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全出席が必要となります。欠席、遅刻や早退などは認められていないので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．附属施術所での行動内容の確認や身だしなみのチェックをグループ内で行うこと。 ２．実習終了後は、施術所内での行動等を各自並びにグループとして十分に振り返り、ポートフォリオの作成を行い、後日指示に従ってポートフォリオの提出を行うこと。 ３．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・臨床実習責任者へ連絡すること。また、附属施術所における実習の場合には同時に附属施術所へも連絡を入れること。 ４．授業の初回と各ガイダンスには必ず参加し、指示に従うこと。 ５．重要掲示板または教室に掲示する「早期臨床体験実習Ⅰ　臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に出席すること。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1. 施術所における見学実習 1) 小グループによるローテーションとする。 2) 指導教員の下で、施術所一般患者の施術を観察する。また、施術前後の付帯業務の補助、状況によっては施術補助を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 2. クルズス 1) 観察・施術補助した症例あるいは与えられた課題疾患について調べる。 2) 施術担当者または指導教員と症例あるいは課題について討論して意見交換を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 3. ＳＧＤ 1) 上記 1､2 で提出したポートフォリオから指定された課題についてＫＪ法により各自抽出し、グループ内で共通事項をまとめる。 2) プレゼン資料を作成する。 3) 資料 (配布またはパワーポイント)にもとづいて発表をする。 4) 討論して意見交換を行う。 4. トータルレビュー（ＴＲ） 1) 上記 3 の内容の共有事項を実習担当者から指導を受ける。 2) 討論して意見交換を行う。	・医療人にふさわしい身だしなみを示すことができる。 ・患者、施術所スタッフ、研修生、指導者に対して、適切に挨拶と自己紹介ができる。 ・施術所スタッフ、研修生、指導者の指示に従い適切に行動できる。 ・患者として術者から感じたことをレポート記録することができる。 ・付属施術所内での態度について事前に自己目標を立て、自己課題に気づきレポートを記録することができる。 ・実習ごとの自己課題を見出し、課題解決の目標と方法を探る行動ができる。	臨床実習又は演習

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅰ

【基本情報】

配当年次	1 学年	担当教員	ふかやま　ちとせ 深山　千歳	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 期	授業形態･回数	講義、演習	24 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸臨床の現場において、医療の専門性を発揮し、患者に適切な医療を行うためには、患者とのコミュニケーションは欠かすことができない。また、他の医療従事者と連携をして、患者の施術にあたることが求められるが、コミュニケーションは連携のための重要な手段の 1 つである。授業では、患者や医療従事者とコミュニケーションをとるために必要なことを学んでいく。具体的には、心理学を基礎とするコミュニケーションの基本的な考え方や技法を中心に取り上げる。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	1．日常の人間関係を良好に保つ能力を身につけるために、自己理解を深め、コミュニケーションの知識と技法を修得する。 2．医療の現場において様々な患者に接し対応するためには、患者の心理状態を理解し、思いやりのある心と態度が必要である。患者との様々な場面を想定し、患者への対応に必要なコミュニケーション技法の習得を目指す。

【担当教員から】

教科書	
参考書	「はじめての医療面接・コミュニケーション技法とその学び方」「鍼灸臨床における医療面接」「医療者のためのコミュニケーション入門」「コミュニケーション学入門」「コミュニケーション実践学」「対人スキルズ・トレーニング」「自分探しの心理学」「死ぬ瞬間」「医療面接技法とコミュニケーションのとり方」「聞く技術答えは患者の中にある」 「コミュニケーションスキルトレーニング」「仲間とみがくコミュニケーション･センス」「コミュニケーション技法」「コミュニケーション学入門」「研修ゲームハンドブック」
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、提出物、プレゼンテーションの内容、授業に対する参加意欲等をルーブリック評価で総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 提出物：40% プレゼンテーションの内容：30% 授業に対する参加意欲：30%
履修の条件 留意点	提出物、プレゼンテーションの内容、授業に対する参加意欲を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ）

	１．全員参加型の授業にしたいので、何より積極性が必要になります。 ２．良好なコミュニケーションは医療の現場だけではなく、日常生活をより豊かなものにすることが出来ますので、充分な理解を深めて下さい。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
2 期	1	医療コミュニケーション導入	ゲームを通してコミュニケーションを理解することができる。	講義・演習
	2	医療コミュニケーション①	KJ 法を用いて鍼灸師に必要な資質を理解することができる。	講義・演習
	3	医療コミュニケーション②	コミュニケーションの定義を理解することができる。	講義・演習
	4	アクティブラーニング①	アクティブラーニングを通して自ら学ぶことを理解することができる。	演習
	5	アクティブラーニング②		演習
	6	アクティブラーニング③		演習
	7	アクティブラーニング④		演習
	8	アクティブラーニング⑤		演習
	9	アクティブラーニング⑥発表	パワーポイントを用いてのプレゼンテーションについて理解することができる。	演習
	10	医療コミュニケーション③	伝達図形のゲームを通して one way と two　way コミュニケーションの違いを理解することができる。	講義・演習
	11	コミュニケーションスキル①	エクササイズを通して自分を理解することとジョハリの窓を理解することができる。	講義・演習
	12	コミュニケーションスキル②	コミュニケーションにおける聴くことを理解することができる。	講義・演習
3 期	13	コミュニケーションスキル③	医療面接における傾聴を理解することができる。	講義・演習
	14	コミュニケーションスキル④	医療面接におけるうなずき、あいづちの技法を理解することができる。	講義・演習
	15	コミュニケーションスキル⑤	医療面接における繰り返しの技法を理解することができる。	講義・演習
	16	スピーチ①（頑張った証）	パブリックスピーキングを理解することができる。	演習
	17	コミュニケーションスキル⑥	映画通して医療面接を理解することができる。	演習
	18	医療面接①	ロールプレイを通して医療面接の技法を理解することができる。	講義・演習
	19	医療面接②		講義・演習
	20	医療面接③		講義・演習
	21	医療面接④		講義・演習
	22	シナリオ作成	シナリオを理解することができる。	講義・演習
	23	スピーチ② （私がなりたい鍼灸師像）	パブリックスピーキングを理解することができる。	演習
	24	まとめ		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅱ（医用英語Ⅰ）

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	やまかわ　よりこ 山川　　より子	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	教科書を中心にする。授業の内容を理解した上で、ペアワークやグループワークも取り入れて、外国人の患者とコミュニケーションをはかる練習をする。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	グローバルな時代を迎え、医療の現場でも外国人と接する機会が増えてきている。 また、最新の医学論文は英文で記されていることが多い。コミュニケーションの手段と医学知識の吸収のためにも、医療の現場で用いられる、英語の専門用語や表現を十分理解し修得する。

【担当教員から】

教科書	「鍼灸師、柔道整復師、受付係のための英会話入門 第２版」(山川より子 著)
参考書	
成績評価基準	定期試験:シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験：１００％ ※課題等がある学期には評価に加算する。
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は基礎分野･科学的思考の基盤人間と生活･医用英語Ⅰの単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０%以上の出席が必要です。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） ペアワークやグループワークに積極的に参加すること。授業後は復習の習慣をつけることが大事であります。予習→授業→復習のサイクルを守るように。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	講義概要,自己紹介,①Parts of the Body(1)	医療現場の英語に習熟し、またそれを臨床の場面などで使うことが出来る。	講義
	2	①Parts of the Body(2)		講義
	3	②In the Clinic etc.1.Appointment		講義
	4	②2.At the entrance		講義
	5	②3.At the reception desk		講義
	6	②4.Preliminary examination		講義
	7	②5.In the consultation room		講義
	8	②6.At the cashier		講義
	9	③Useful Expressions.1. Pain; Ache; Sore		講義
	10	③2.Instructions Strengthening of Muscle to Backache		講義 講義
	11	Everyday Ways to Lower-back Pain		講義
	12	Stretching for Elderly③3.Diagnosis		講義
	13	③4.The cause of ache or pain/復習/ 期末(到達目標達成確認)試験		講義/試験
	14	試験解説		講義
	15	講義概要,自己紹介,①Parts of the Body(1)		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅱ（医用英語Ⅱ）

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	やまかわ　よりこ 山川　　より子	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	教科書を中心にする。授業の内容を理解した上で、ペアワークやグループワークも取り入れて、外国人の患者とコミュニケーションをはかる練習をする。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	グローバルな時代を迎え、医療の現場でも外国人と接する機会が増えてきている。 また、最新の医学論文は英文で記されていることが多い。コミュニケーションの手段と医学知識の吸収のためにも、医療の現場で用いられる、英語の専門用語や表現を十分理解し修得する。

【担当教員から】

教科書	「鍼灸師、柔道整復師、受付係のための英会話入門 第２版」(山川より子 著)
参考書	
成績評価基準	定期試験:シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合(%)） 期末(到達目標達成確認)試験：１００％ ※課題等がある学期には評価に加算する。
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、課題の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は基礎分野･科学的思考の基盤人間と生活･医用英語Ⅱの単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０%以上の出席が必要です。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） ペアワークやグループワークに積極的に参加すること。授業後は復習の習慣をつけることが大事であります。予習→授業→復習のサイクルを守るように。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	③Useful Expressions 5.Symptoms	医療現場の英語に習熟し、またそれを臨床の場面などで使うことが出来る。	講義
	2	③6.Checks & treatment(1)		講義
	3	③6.Checks & treatment(2)7.After 6.		講義
	4	Basic Stretching Exercise for the Knees		講義
	5	⑥Expressions 1.Fracture 2.Dislocation		講義
	6	⑥3.Sprain,strain,twist,wrench;crick		講義
	7	⑥4.Injury,contusion[bruise]etc.		講義
	8	Exercises to Maintain Suppleness		講義
	9	⑥5.Judotherapy words(1-4)		講義
	10	⑥5(5-8) physical test words and phrases ⑦Case Studies.Sprained Ankle and Pain(1)		講義 講義
	11	⑦Case Studies.Sprained Ankle and Pain(2)		講義
	12	⑦Case Studies.A Torn Achilles Tendon		講義
	13	復習/期末(到達目標達成確認)試験		講義/試験
	14	試験解説		講義
	15	③Useful Expressions 5.Symptoms		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　基礎分野　科学的思考の基礎　人間と生活

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合基礎Ⅱ（化学）

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	ねぎし　ひでゆき 根岸　秀幸	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	15 回

【授業情報】

授業概要	元素名と元素記号、さらに化学式を学び、物質の構造、状態変化・化学変化と物理変化の相違を説明できるように展開していく。また、生理学に結びつける事を念頭におき、酸性・アルカリ性と pH や無機化合物と有機化合物の相違も講義に取り入れて行く。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	まず、物質の性質やいろいろな反応などについての基礎的な化学知識を身につける。そして、専門基礎分野並びに専門分野へ繋がる幅広い知識を修得する。

【担当教員から】

教科書	
参考書	改訂版 視覚でとらえる「フォトサイエンス 化学図録」 数研出版編集部 編著
成績評価基準	定期試験：シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。 課題（レポート・小テスト等）：レポートであればルーブリック評価を用い、小テストは授業時間内に実施し、各定期試験に反映させることがある。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合(%)） 期末（到達目標達成確認）試験：１００% ※課題等がある学期には評価に加算する。
履修の条件 留意点	期末（到達目標達成確認）試験、課題の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は基礎分野・科学的思考の基盤人間と生活・化学の単位として認定されます。なお、本科目の定期試験受験の為には、授業の７０%以上の出席が必要です。体調管理をしっかり行い、授業の出欠には充分注意してください。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業後は復習の習慣をつけることが大事であります。予習→授業→復習のサイクルを守るように。分らない事をそのままにしないで、きちんと学習して、基礎的な知識を身につけましょう。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	サイエンスと化学(数値精度, 単位)	元素名と元素記号、さらに化学式を記述できる。	講義
	2	元素・原子・分子(原子の構造)		講義
	3	物質の構成と化学結合(物質の構成, 化学結合)	物質の構成や構造を説明できる。	講義
	4	物質の状態(1)(状態の定義)	物質の状態変化を説明できる。	講義
	5	物質の状態(2)(気体, 液体, 固体)		講義
	6	溶液の化学(1)(溶液の定義, 濃度)	化学変化と物理変化の相違を説明できる。	講義
	7	溶液の化学(2)(溶液の性質)		講義
	8	コロイド化学(1)(コロイド溶液の定義)		講義
	9	コロイド化学(2)(コロイド溶液の性質)		講義
	10	酸と塩基(1)(酸と塩基の定義)	酸性・アルカリ性と pH を説明できる。	講義
	11	酸と塩基(2)(pH の定義, 中和反応)		講義
	12	酸と塩基(3)(緩衝溶液)		講義
	13	酸化と還元(酸化還元反応の定義)		講義
	14	有機化学(有機化合物とは何か)	無機・有機化合物の相違を説明できる。	講義
	15	高分子化学(高分子化合物とは何か)・期末(到達目標達成確認)試験		講義/試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床医学Ⅰ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	あだち　まさひこ 足立　昌彦	いけざき　そのえ 池崎　園江
単位数	2 単位			
開講学期	２～３学期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	はりきゅう臨床でも遭遇する疾患の鍼灸治療の適応と不適応の鑑別ができる能力を取得するために、各疾患の概念、原因、主症状、検査所見、予後について学習していく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸臨床において遭遇する不適応を判定できる能力を習得するために、不適応疾患の特徴や病歴聴取のポイントを理解する。

【担当教員から】

教科書	１．『臨床医学各論』学校協会編 ２．『臨床医学総論』学校協会編
参考書	１．『病理学概論』学校協会編 ２．『衛生学・公衆衛生学』学校協会編 ３．『リハビリテーション医学』学校協会編
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験および授業態度により評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、授業態度の評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・臨床医学Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．解剖学、生理学を理解していることを前提に授業を行います。各器官の名称および生理機能を復習しておいて下さい。 ２．復習が大事です。関連する他の科目と関連付けて理解します。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
２期	1	感染症①	感染症についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	2	感染症②		講義
	3	口腔・胃腸系疾患①	口腔・胃腸系疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	4	口腔・胃腸系疾患②		講義
	5	肝・胆・膵臓系疾患①	肝・胆・膵臓系疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	6	肝・胆・膵臓系疾患②		講義
	7	泌尿器系疾患①	泌尿器系疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	8	泌尿器系疾患②		講義
	9	内分泌系疾患①	内分泌系疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	10	内分泌系疾患②		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	13	代謝系疾患①	代謝系疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	14	代謝系疾患②		講義
	15	呼吸器系疾患①	呼吸器系疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	16	呼吸器系疾患②		講義
	17	循環器系疾患①	循環器系疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	18	循環器系疾患②		講義
	19	血液・造血器系疾患①	血液・造血器系疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	20	血液・造血器系疾患②		講義
	21	悪性疾患①	悪性疾患についての概要が説明できる。 あはき施術が不適応であるポイントが説明できる。	講義
	22	悪性疾患②		講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	25	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】疾病治療論Ⅰ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	にしおか　たけゆき 西岡　岳之	
単位数	2 単位			
開講学期	２～３学期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	リハビリテーションは運動機能、日常生活活動の能力の障害を回復させ、社会・環境への適応を促進するために必要な第４の医学と呼ばれる。ここでは、リハビリテーション医学を理解し、障害と障害者への対応の概念を学ぶ。また、日本は４人に１人が高齢者となる超高齢社会を迎える。厚生労働省は 2025 年を目途に高齢者の尊厳の保持と自立生活支援の目的の元、地域包括ケアシステムの構築を推進しており、疾病予防と健康増進を目的にリハビリテーションの必要性は増し、さらに在宅医療推進の流れの中、あらゆる疾患経過時期における対応においてその重要性は高まっていることから、地域包括ケアシステムの構成要因としての、はりきゅう師の役割を見据え、介護予防の分野における機能運動訓練を実践する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	はり・きゅうの施術・介護分野・リハビリテーションにおける臨床・福祉の現場で活用するために、障害を理解し、リハビリテーションの各時期に応じた対応や障害評価手法を修得し、実践をする。

【担当教員から】

教科書	１.『リハビリテーション医学』学校協会編
参考書	１.『標準リハビリテーション医学』医学書院 ２.『理学療法ハンドブック』協同医書出版社 ３.『障害と活動の測定・評価ハンドブック』南江堂 ４.『完全図解　介護予防リハビリ体操大全集』講談社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験にて総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進・疾病治療論Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） リハビリテーション医学は「人間たるにふさわしい状態になる」という意味です。中世では「名誉の回復」という法律用語として使用されてきました。従って、本学問は「人間たるにふさわしい状態になる」ために行うアプローチ（対応）の体系です。疾病や障害によって、出来ないことできるようになるといった単なる機能の回復という狭い意味ではなく、権利・資格・名誉の回復など人間らしく生きる権利の回復を目指すものです。 本科目を通じて、疾病や障害をもちながらもそこで生活する「その人」とどう関わり、その関わりから何を学ぶかをという基本姿勢を軸に学習してください。 また、授業毎に前回授業分の小テストを実施し、授業の習熟度を確認します。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
２期	1	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝと障害	基本理念、障害と生活のとらえ方、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの分野を説明できる。	講義
	2	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学と医療	ﾘﾊ医学の概念、チームアプローチ、進め方について説明できる。	講義
	3	地域ケアと地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ	高齢社会から地域包括ケアシステムの役割について説明できる。	講義
	4	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝに関わる社会制度	介護保険制度の仕組みと利用方法について説明できる。	講義
	5	鍼灸師の役割と展望①	地域包括ケアシステムにおけるはあき師の役割について説明できる。	講義
	6	鍼灸師の役割と展望②	機能運動訓練指導員の役割について説明できる。	講義
	7	鍼灸師の役割と展望③	身体介助について行う事ができる。	実習
	8	鍼灸師の役割と展望④	粗大運動、移動移乗動作、衣服の着脱、車椅子の操作、杖歩行	実習
	9	四肢長と周径･関節可動域①	心身機能、身体構造の評価について説明できる。	講義
	10	四肢長と周径･関節可動域②	四肢の長さや周径、角度計を使用し計測できる。	実習
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	13	徒手筋力テスト①	徒手筋力テストの概要と筋力に応じた運動方法を説明できる。	講義
	14	徒手筋力テスト②	上肢の徒手筋力テストを実践できる。	実習
	15	徒手筋力テスト③	下肢・体幹の徒手筋力テストを実践できる。	実習
	16	運動の協調性テスト	運動の協調性における障害評価が説明できる。	講義
	17	高次脳機能障害	高次脳機能障害の概要と評価について説明できる。	講義
	18	言語聴覚療法	言語聴覚療法の概要と失語症、摂食嚥下障害について説明できる。	講義
	19	知能・性格検査	知能検査、性格検査の評価法について説明できる。	講義
	20	運動学の基礎	運動学の基礎、姿勢と重心について説明できる。	講義
	21	歩行	歩行のメカニズムについて説明できる。	講義
	22	異常歩行	疾患と異常歩行について説明できる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	25	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】専門基礎分野　保健医療福祉とはり、きゅうの理念

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】保健と医療Ⅱ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	はたけやま　ひろのり 畠山　博式	
単位数	1 単位			
開講学期	2 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	国民が医療施設で医療を受けた際、医療費の負担が軽減される医療保険制度をわが国は敷いている。残念ながら、鍼灸の治療費はこの対象ではない。但し、現在は腰痛や五十肩などの限られた疾患に関しての鍼灸の治療費が保険適応される（医療保険療養費支給申請ができる）制度がある。この授業ではわが国の医療保険制度や療養費の支給申請のための具体的方法を学ぶ。また、昨今一般的に知られるようになった代替医療や統合医療はどういうものなのか、その中における鍼灸の位置づけや役割、他の手法との違いを学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	免許を与えられて施術を行う責任感を持ち、わが国の社会保障制度について習得するために、はり師、きゅう師として医療保険療養費支給申請の手続きを理解する。 良質な医療連携を担えるようにはり師、きゅう師としてどうあるべきかを考察するために、医療倫理について理解する。

【担当教員から】

教科書	１．「衛生学・公衆衛生学」第２版；東洋療法学校協会編，医歯薬出版（株） ２．「医療概論；東洋療法学校協会編，医歯薬出版（株） ３．「社会あはき学」；東洋療法学校協会編，医歯薬出版（株）
参考書	１．「国民衛生の動向」；厚生労働統計協会 ２．「療養費の支給基準」；社会保険研究所 ３．「公衆衛生がみえる」；メディックメディア
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） 期末（到達目標達成確認）試験（年度末試験）：１００%
履修の条件 留意点	期末（到達目標達成確認）試験の評価を合計して60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門基礎分野・保健医療福祉とはり、きゅうの理念・保健と医療Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．HR にて教科書や配布プリント等を用いて、講義形式で行います。 ２．授業ではノートを取ったり、プリントに記入しながら、話をよく聴いてください。 ３．授業中は机上に飲み物や食べ物を置かないでください。 ４．携帯電話の電源は切ってください。どうしても携帯電話の使用が必要な場合は申し出てください。 ５．欠席した場合の配付資料はクラスメートにもらってもらうか、次の授業までに教員室にもらいに来てください。
オフィスアワー	授業開講日の 17:450～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
２期	1	わが国の社会保障制度	わが国の社会保障制度を概説できる。	講義
	2	わが国の医療保障制度①	社会保険や公的扶助について説明できる。 医療保険の種類を挙げ、説明できる。 公費医療について説明できる。 医療費の支払いについて概説できる。 鍼灸の療養費の取り扱いについて概説できる。	講義
	3	わが国の医療保障制度②		講義
	4	わが国の医療保障制度③		講義
	5	わが国の医療保障制度④		講義
	6	わが国の医療保障制度⑤		講義
	7	国民医療費	国民医療費について説明できる。 国民医療費増大の原因と対策を説明できる。	講義
	8	わが国の介護保険制度	わが国の介護保険制度について概説できる。	講義
	9	医療に携わる者としての倫理	ヒポクラテスの誓い等、医療に携わる者としての倫理が理解できる。 患者の権利の宣言等、患者と医療に携わる者としての倫理を理解できる。	講義
	10	医療と社会の倫理	医療と社会の倫理を理解できる。 医療倫理の変遷を説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　基礎はき学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】東洋医学Ⅲ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	くろだ　たつお 黒田　達夫	
単位数	3 単位			
開講学期	１～３学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学の診断法である四診を理解し、四診から得られる情報を基に証を決定する。さらに、証に応じた治療法、治療穴について学ぶ。また、様々な刺法の特徴についても学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	東洋医学による診断、治療ができる様になるために、東洋医学における人体の構造機能の基礎知識の概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：９０% ２．小テスト・レポート：１０%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、小テスト・レポートの評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野　基礎はり学、基礎きゅう学・東洋医学Ⅲの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．東洋医学の考え方による治療に結びつく所であるため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれる。 ２．授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 ３．東洋医学には独特の考え方があるので、現代医学理論にこだわらないこと。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	望診①（神・色・形・態、舌診）	1. 神・色・形・態について説明できる。 2. 舌診について説明できる。	講義
	2	望診②（舌診）	1. 特徴的な舌と証について説明できる。	講義
	3	聞診（声診・五音・五声・呼吸・発語・異常音・気味）	1. 聞診について説明できる。 2. 特徴的な症状と証について説明できる。	講義
	4	問診①（問診の進め方・主訴・基本的問診事項）	1. 問診について説明できる。 2. 寒熱と証について説明できる。 3. 飲食と証について説明できる。 4. 睡眠と証について説明できる。 5. 二便と証について説明できる。 6. 情志と証について説明できる。 7. 生活環境と証について説明できる。 8. 身体各部位の症状と証について説明できる。 9. 汗と証について説明できる。 10. 疼痛と証について説明できる。 11. 女性の症状と証について説明できる。	講義
	5	問診②（基本的問診事項）		講義
	6	問診③（その他の問診事項）		講義
	7	問診④（その他の問診事項）		講義
	8	切診①（反応・腹診・切経・経穴診）	1. 切診について説明できる。 2. 特徴的な症状と証について説明できる。	講義
	9	切診②（脈診・四診合参）	1. 脈診について説明できる。 2. 特徴的な脈と証について説明できる。	講義
	10	弁証①　1）八綱弁証	1. 八綱弁証について説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	弁証②　2）気血津液弁証①	1. 気の病証について説明できる。 2. 血の病証について説明できる。 3. 津液の病証について説明できる。 4. 精の病証について説明できる。 5. 陰の病証について説明できる。 6. 陽の病証について説明できる。 7. 複合的な病証について説明できる。	講義
	14	弁証③　2）気血津液弁証②		講義
	15	弁証④　2）気血津液弁証③		講義
	16	弁証⑤　2）気血津液弁証④		講義
	17	弁証⑥　3）臓腑弁証①	1. 肝・胆の病証について説明できる。 2. 心・小腸の病証について説明できる。 3. 脾・胃の病証について説明できる。 4. 肺・大腸の病証について説明できる。 5. 腎・膀胱の病証について説明できる。 6. 五臓の複合病証について説明できる。	講義
	18	弁証⑦　3）臓腑弁証②		講義
	19	弁証⑧　3）臓腑弁証③		講義
	20	弁証⑨　3）臓腑弁証④		講義
	21	弁証⑩　3）臓腑弁証⑤		講義
	22	弁証⑪　3）臓腑弁証⑥		講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	弁証⑫　3）臓腑弁証⑦	1. 五臓の複合病証について説明できる。	講義
	26	弁証⑬　3）臓腑弁証⑧		講義
	27	弁証⑭　3）臓腑弁証⑨		講義
	28	弁証⑮　4）経絡弁証	1. 十二経脈の病証について説明できる。	講義
	29	弁証⑯　5)六淫弁証・6)六経弁証	1. 六淫弁証について説明できる。 2. 六経弁証について説明できる。	講義
	30	弁証⑰　7)衛気営血弁証・8)三焦弁証・標本と主客	1. 衛気営血弁証について説明できる。 2. 三焦弁証について説明できる。 3. 標本と主客について説明できる。	講義
	31	論治①（治則・治法）	1. 医療人の心得について説明できる。 2. 治療原則について説明できる。 3. 治法について説明できる。	講義
	32	論治②（治療法の概要）	1. 治療法の概要について説明できる。	講義
	33	論治③（治療法の概要）	1. 補瀉法について説明できる。 2. 選穴の原則について説明できる。 3. 古代刺法について説明できる。	講義
	34	まとめ		講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　基礎はり学、きゆう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】東洋医学Ⅳ

【基本情報】

配当年次	２学年	担当教員	かわすみ　ゆうこ 川澄　裕子	
単位数	２単位			
開講学期	１～２期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	はりきゅう師において臨床では経穴を取穴出来ることは必須である。1 年次には取穴に必要な経絡経穴の種類や名前、部位を学んだが、ここでは、さらに確実に取穴をするために人体の骨、筋肉、神経、血管などの場所を正確に覚える。また、特によく使われる要穴や奇穴を名前や部位を覚え、臨床に必要な経絡経穴の知識を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	人体各部の経穴を教科書に記載された通りに取穴するために、筋、神経、血管の場所を理解し、実際の取穴法を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．WHO 経穴部位日本語公式版 ２．東洋医学概論；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験、授業毎に実施する小テストの評価を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：９０% ２．小テスト：１０%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、小テストの評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・基礎はり学、きゆう学・東洋医学Ⅳの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．治療を行うための最も基本的なものであるため、積極的な学習姿勢が望まれます。 ２．経穴の概要、経穴名、取穴部位、解剖学的知識の理解が必要になります。既習科目の理解を深めておくことが大切です。 ３．欠席、遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなります。授業の出欠には十分留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	奇穴の部位と主治	奇穴の主治、部位を概説できる。	講義
	2	奇穴の部位と主治組合せ穴	奇穴の主治、部位を概説できる。 組合せ穴を概説できる。	講義
	3	五要穴の概要と部位	五要穴の意味を概説できる。 五要穴に属する経穴とその部位を概説できる。	講義
	4	五兪穴の概要と部位	五兪穴の意味を概説できる。 五兪穴に属する経穴とその部位を概説できる。	講義
	5	八会穴の概要と部位 四総穴の概要と部位 八総穴の概要と部位	八会穴・四総穴・八総穴の意味を概説できる。 八会穴・四総穴・八総穴に属する経穴とその部位を概説できる。	講義
	6	奇経八脈の概要と流注、所属経穴について	奇経八脈の概要と流注、所属経穴について概説できる。	講義
	7	経絡経穴の現代的研究	経絡・経穴の現代的研究を概説できる。	講義
	8	上腕陰経、陽経の経穴の部位と取穴法、解剖について	上腕陰経、陽経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	9	前腕陰経の経穴の部位と取穴法、解剖について	前腕陰経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	10	前腕陽経の経穴の部位と取穴法、解剖について	前腕陽経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	11	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	大腿陰経、陽経の経穴の部位と取穴法、解剖について	大腿陰経、陽経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	14	下腿陽経の経穴の部位と取穴法、解剖について	下腿陽経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	15	下腿陰経の経穴の部位と取穴法、解剖について	下腿陰経の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	16	腰背殿部の経穴の部位と取穴法、解剖について	腰背殿部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	17	腰背殿部の経穴の部位と取穴法、解剖について	腰背殿部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	18	胸腹部の経穴の部位と取穴法、解剖について	胸腹部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	19	胸腹部の経穴の部位と取穴法、解剖について	胸腹部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	20	頸部、顔面部の経穴の部位と取穴法、解剖について	頸部、顔面部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	21	頸部、顔面部の経穴の部位と取穴法、解剖について	頸部、顔面部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	22	頭部の経穴の部位と取穴法、解剖について	頭部の経穴の部位と取り方、解剖の各項目について概説できる。	講義
	23	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	25	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　臨床はり学・きゆう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき理論Ⅰ

【基本情報】

配当年次	２学年	担当教員	たけい　よしゆき 武井　良之	
単位数	１単位			
開講学期	３学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	鍼、灸の施術が生体に対しどのように作用するか、なぜ体調や症状の変化が起こるのかを、解剖学・生理学を踏まえて、理解するための理論を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸による生体の反応や作用について理解し、患者さんに説明できるようになるために、解剖学・生理学の知識を基に治効の理論を修得する。

【担当教員から】

教科書	１.「はりきゅう理論」東洋療法学校協会編　(株)医道の日本社
参考書	１.「鍼灸医療安全ガイドライン」鍼灸安全性委員会　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験、授業振り返りシートの内容を総合的に評価する。 ※授業終了時に配布した用紙にその日の最重要点を簡潔まとめさせ、その内容の出来不出来によって算定される。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：８０% ２．授業振り返りシート：２０%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、授業振り返りシートの評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・臨床はり学・きゆう学・はき理論Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
３期	1	感覚 １．感覚とは ２．触圧覚の受容と伝導①	人体の感覚について説明できる。 触圧刺激の種類と特徴について説明できる。 触圧覚受容器の種類と特徴について説明できる。 触圧覚の求心性神経の種類と特徴について説明できる。	講義
	2	２．触圧覚の受容と伝導② ３．温度覚の受容と伝導①	触圧覚の伝導路について説明できる。 温度刺激の種類について説明できる。 温覚・冷覚受容器の種類と特徴について説明できる。 温度覚の求心性神経の種類と特徴について説明できる。 温度覚の伝導路について説明できる。	講義
	3	４．痛覚の受容と伝導①	痛みの分類と特徴について説明できる。 痛覚受容器の種類と特徴について説明できる。 内因性発痛物質の種類と特徴について説明できる。 求心性神経線維の種類と特徴について説明できる。	講義
	4	５．痛覚の受容と伝導② （３．温度覚の受容と伝導②） ６．深部感覚の受容と伝導	痛覚の伝導路について説明できる。 痛覚投射部位について説明できる。 熱痛・冷痛の発生と特徴について説明できる。 関連痛について説明できる。 深部感覚の種類について説明できる。 深部感覚の求心性神経の種類と特徴について説明できる。 深部感覚の伝導路について説明できる。	講義
	5	７．反射と鍼灸刺激 ①体性−運動反射②自律神経反射（体性−内臓、内臓−内臓、内臓−体性反射）③軸索反射	体性−運動反射について説明できる。 自律神経反射について説明できる。 軸索反射について説明できる。	講義
	6	鍼鎮痛 １．鍼麻酔 ２．鍼鎮痛① （１）体内の鎮痛機構 （２）内因性モルヒネ様物質（内因性オピオイドペプチド）	鍼麻酔について説明できる。 体内の鎮痛機構について説明できる。 内因性モルヒネ様物質の種類について説明できる。 オピオイドの受容体と拮抗物質について説明できる。	講義
	7	２．鍼鎮痛② （３）鍼鎮痛の末梢経路と中枢経路 ①下行性痛覚抑制系 ②上行性痛覚抑制系	上行性痛覚抑制系について説明できる。 下行性痛覚抑制系について説明できる。	講義
	8	２．鍼鎮痛③ （３）鍼鎮痛の末梢経路と中枢経路② ③ゲートコントロール説による鎮痛 ④広汎性侵害抑制調節 ⑤末梢性鎮痛 ⑥その他の鎮痛機序	ゲートコントロール説について以下の事柄を基に説明できる。 広汎性侵害抑制調節について説明できる。 末梢性鎮痛について説明できる。 その他の鎮痛機序について概説できる。	講義
	9	鍼灸施術の治療的作用	鍼灸施術の治療的作用について説明できる。	講義
	10	まとめ		講義
	11	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　臨床あん摩はり・きゆう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき臨床診察学Ⅰ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	みうら ひろし 三浦　洋（実務経験あり）	
単位数	3 単位			
開講学期	1～3 学期	授業形態･回数	講義、演習	36 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸臨床の中で病態の鑑別をする上で医療面接（Medical Interview）と身体診察（Physical Examination）が的確にできるかが大きく影響する。ここでは、担当教員の外部治療院での臨床経験を活かして、患者の身体の状態を総合的に診るための医療面接の目的やそれらの技術の基本を教授していく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１．はり及びきゅうの臨床における基本的臨床技能として重要な位置にある医療面接を習得するために、医療面接・コミュニケーション技法を理解する。 ２．施術者としてお互いの立場を尊重した人間関係を構築して、適切な医療面接を習得するために、患者役と面接者役となってロールプレイを行い、医療面接技法を理解する。 ３．はり及びきゅうの臨床に必要な身体診察を実践するために、身体診察技能を修得する。

【担当教員から】

教科書	1.「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株) 2.「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	初回授業時に別途提示する。
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、１・２学期の期末試験と、３学期間の授業振り返りシートを総合的に判断して評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：７０% ２．授業振り返りシート：３０%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、授業振り返りシートの評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・臨床はり学・臨床きゆう学・はき臨床診察学Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） この授業は、２年３学期～３年次に行う臨床実習に必要不可欠な授業であるため、出席状況が技術の習熟度に直結するといっても過言ではありません。毎講義の復習にしっかり取り組んでください。また、３学期の「医療面接」については、１年次の「医療コミュニケーション」の続きの授業になりますので、復習をして授業に臨んでください。ロールプレイの際は、実際の患者さんと接していると思い、真面目に取り組んでください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45 ～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	１．授業ガイダンス （鍼灸臨床の流れ） ２．診察の基本 （全身状態の把握・バイタルサイン）	医療面接･問診から、鍼灸施術に至る臨床の一連の流れが理解できる。 全身状態を把握する代表的な方法を説明できる。 バイタルサインが概説できる。 毎回の授業時に脈拍、血圧測定が実践できる。	講義･演習
	2	３．腰下肢部の診察①	腰下肢部の視診・触診ができる。	講義･演習
	3	３．腰下肢部の診察②	腰下肢部の動作確認ができ、所見が取れる。	講義･演習

	4	３．腰下肢部の診察③	腰下肢部の神経学的所見が取れる。 腰下肢部に関する代表的な徒手検査法を行い、所見が取れる。 下肢に関する脈拍･血圧の所見が取れる。 脊椎骨折所見が取れる。	演習
	5	４．頸肩腕部の診察①	頸肩腕部の視診・触診ができる。 頸肩腕部の動作確認ができ、所見が取れる。 頸肩腕部の神経学的所見が取れる。 頸肩腕部に関する代表的な徒手検査法を行い、所見が取れる。	講義･演習
	6	４．頸肩腕部の診察②		講義･演習
	7	４．頸肩腕部の診察③		演習
	8	５．膝関節部の診察①	膝関節部の視診・触診ができる。 膝関節部の動作確認ができ、所見が取れる。 膝関節部に関する代表的な徒手検査法を行い、所見が取れる。	講義･演習
	9	５．膝関節部の診察②		講義･演習
	10	５．膝関節部の診察③		演習
	11	まとめ	全身状態を把握する代表的な方法が実践できる。 腰下肢・頸肩腕・膝関節の診察が実践できる。	演習
	12	期末(到達目標達成確認)試験	（腰下肢・頸肩腕・膝関節の診察）	試験
２期	13	５．肩関節部の診察	肩関節部の視診・触診ができる。 肩関節部の動作確認ができ、所見が取れる。 肩関節部に関する代表的な徒手検査法を行い、所見が取れる。	講義･演習
	14	５．肩関節部の診察		演習
	15	６．下肢全般の診察①	下肢全般（股関節周囲を含む）の視診・触診ができる。 下肢全般の動作確認ができ、所見が取れる。 下肢全般に関する代表的な徒手検査法を行い、所見が取れる。	講義･演習
	16	６．下肢全般の診察②		演習
	17	７．上肢全般の診察①	上肢全般の視診・触診ができる。 上肢全般の動作確認ができ、所見が取れる。 上肢全般に関する代表的な徒手検査法を行い、所見が取れる。	講義･演習
	18	７．上肢全般の診察②		演習
	19	まとめ	肩関節の診察が実践できる。 上下肢の診察が実践できる。	演習
	20	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	21	７．背部・腹部の診察	背部・腹部の視診、聴診、触診、打診が理解できる。	講義･演習
	22	８．前頚部・胸部の診察	前頚部・胸部の視診、触診、打診が理解できる。	講義･演習
	23	９．頭部・顔面部の診察	頭部・顔面部の視診、触診が理解できる。	講義･演習
	24	まとめ	背部・腹部・前頚部・胸部・頭部・顔面部の診察を行うことができる。	演習
３期	25	医療面接概論①	コミュニケーションの基礎が理解できる。 キュープラー・ロスの喪失の５段階説を理解することができる。	講義・演習
	26	医療面接概論②	医療面接と問診の違いが理解できる。 面接に必要な態度と技法について理解できる。	講義・演習
	27	医療面接概論③	医療面接の役割と鍼灸臨床そのものがコミュニケーションであることを理解することができる。	講義・演習
	28	医療面接概論④	開かれた質問と閉ざされた質問の違いと活用方法が理解できる。	講義・演習
	29	医療面接概論⑤	解釈モデル(explanatory model)について理解する	講義・演習
	30	医療面接概論⑥	シナリオについて理解することができる。	講義・演習
	31	ロールプレイ実習①	腰下肢痛のシナリオを理解し、医療面接を行うことができる。	講義・演習
	32	ロールプレイ実習②	頸肩腕痛のシナリオを理解し、医療面接を行うことができる。	講義・演習
	33	ロールプレイ実習③	肩関節痛のシナリオを理解し、医療面接を行うことができる。	講義・演習
	34	ロールプレイ実習④	膝痛のシナリオを理解し、医療面接を行うことができる。	講義・演習
	35	ロールプレイ実習⑤	医療面接のロールプレイの振り返りを行うことができる。	講義・演習
	36	まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】専門分野　臨床はり学、臨床きゆう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき臨床診察学Ⅱ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	いけざき　そのえ 池崎　園江	
単位数	3 単位			
開講学期	１～３学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸臨床において最も高頻度に扱われる腰痛、腰下肢痛、頚上肢痛、肩痛、膝痛をはじめ、その他、頭痛、胸痛、腹痛、下痢や便秘など、鍼灸臨床において遭遇する頻度の高い症候の鍼灸治療の適応と不適応を鑑別できる能力を取得するために、各愁訴の原因となる主要疾患の特徴とそれぞれの愁訴に対する病歴聴取や身体診察法について学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	鍼灸臨床において最も高頻度に扱われる腰痛、腰下肢痛、頚上肢痛、肩痛、膝痛の適応を判定し、予後を推定し、病態を認識できる能力を習得するために、主要な疾患の特徴や病歴聴取事項、診察法と鑑別について理解する。 鍼灸臨床において遭遇する症候の適応を判定できる能力を習得するために、主要な疾患の特徴や病歴聴取事項、診察法と鑑別について理解する。

【担当教員から】

教科書	１．『臨床医学各論』学校協会編 ２．『臨床医学総論』学校協会編
参考書	１．『鍼灸臨床 問診・診察ハンドブック』医道の日本社 ２．『診察と手技が見える①』メディックメディア
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・臨床はり学・臨床きゆう学・はき臨床診察学Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業内容は実技科目と臨床実習が関連するため、積極的な学習姿勢が望まれます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	カルテの記載事項	カルテの記載事項について説明できる。	講義
	2	腰痛（主要疾患の特徴）	主要疾患の特徴について説明できる。	講義
	3	腰痛（病歴聴取）	病歴聴取事項について説明できる。	講義
	4	腰痛（診察法と鑑別）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	5	腰下肢痛（主要疾患の特徴）	主要疾患の特徴について説明できる。	講義
	6	腰下肢痛（病歴聴取）	病歴聴取事項について説明できる。	講義
	7	腰下肢痛（診察法と鑑別）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	8	頚上肢痛（主要疾患の特徴）	主要疾患の特徴について説明できる。	講義
	9	頚上肢痛（病歴聴取）	病歴聴取事項について説明できる。	講義
	10	頚上肢痛（診察法と鑑別）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	肩痛（主要疾患の特徴）	主要疾患の特徴について説明できる。	講義
	14	肩痛（病歴聴取）	病歴聴取事項について説明できる。	講義
	15	肩痛（診察法と鑑別）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	16	膝痛（主要疾患の特徴）	主要疾患の特徴について説明できる。	講義
	17	膝痛（病歴聴取）	病歴聴取事項について説明できる。	講義
	18	膝痛（診察法と鑑別）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	19	その他の運動器系（主要疾患の特徴）	主要疾患の特徴について説明できる。	講義
	20	その他の運動器系（病歴聴取）	病歴聴取事項について説明できる。	講義
	21	その他の運動器系（診察法）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	22	運動失調（主要疾患の特徴）	主要疾患の特徴について説明できる。	講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	運動失調（病歴聴取）	病歴聴取事項について説明できる。	講義
	26	運動失調（診察法と鑑別）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	27	頭痛（主要疾患の特徴）	主要疾患の特徴について説明できる。	講義
	28	頭痛（病歴聴取と鑑別）	病歴聴取事項と鑑別について説明できる。	講義
	29	胸痛（主要疾患の特徴と病歴聴取）	主要疾患と病歴聴取について説明できる。	講義
	30	胸痛（診察法と鑑別）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	31	腹痛（症状の特徴と病歴聴取）	症状の特徴と病歴聴取について説明できる。	講義
	32	腹痛（診察法と鑑別）	診察法と鑑別について説明できる。	講義
	33	下痢・便秘（症状の特徴と病歴聴取）	症状の特徴と病歴聴取について説明できる。	講義
	34	下痢・便秘（病歴聴取と鑑別ポイント）	病歴聴取と鑑別ポイントについて説明できる。	講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　臨床はり学、きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき臨床診察学Ⅲ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	にしおか　たけゆき 西岡　岳之	
単位数	3 単位			
開講学期	１～３学期	授業形態･回数	講義	36 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学概論で学習した診断、治療を応用し、症状に対する考え方から証立て、配穴、治療法を学習する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１．東洋医学概論で学習した診断、治療を応用し、患者の愁訴から証立てを行うために、各症候の東洋医学的な病態を理解する。 ２．経絡経穴概論で学習した経絡の流注、経穴の特徴を応用し選穴・配穴を行うために、各病証・証立てに応じた配穴を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編 ３．東洋医学臨床論（はりきゅう編）；東洋療法学校協会編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験、小テスト・レポートを総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：９０% ２．小テスト・レポート：１０%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、小テスト・レポートの評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・臨床はり学、きゅう学・はき臨床診察学Ⅲの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 東洋医学の考え方による治療法を学ぶため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	治療総論、治療原則	1. 治療原則について説明することができる。	講義
	2	頭痛	1. 各症候の東洋医学的な考え方を述べることができる。 2. 各症候の東洋医学的な病態を説明することができる。 3. 適応となる疾患の治療方針、治療穴を列挙することができる。	講義
	3	顔面痛		講義
	4	顔面麻痺		講義
	5	歯痛		講義
	6	眼精疲労		講義
	7	鼻閉と鼻汁		講義
	8	脱毛症		講義
	9	めまい		講義
	10	耳鳴りと難聴		講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
２期	13	咳嗽	1. 各症候の東洋医学的な考え方を述べることができる。 2. 各症候の東洋医学的な病態を説明することができる。 3. 適応となる疾患の治療方針、治療穴を列挙することができる。	講義
	14	喘息		講義
	15	胸痛		講義
	16	腹痛		講義
	17	悪心と嘔吐		講義
	18	便秘と下痢		講義
	19	月経異常		講義
	20	排尿障害		講義
	21	インポテンツ		講義
	22	高血圧		講義
	23	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	24	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	25	低血圧	1. 各症候の東洋医学的な考え方を述べることができる。 2. 各症候の東洋医学的な病態を説明することができる。 3. 適応となる疾患の治療方針、治療穴を列挙することができる。	講義
	26	食欲不振		講義
	27	肥満		講義
	28	発熱		講義
	29	のぼせと冷え		講義
	30	不眠		講義
	31	疲労と倦怠		講義
	32	発疹		講義
	33	まとめ		講義
	34	まとめ		講義
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	37	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】応用はりきゅう実技Ⅰ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	さかもと　たつのり 坂本　辰徳 （実務経験あり）	ふかやま　ちとせ 深山　千歳 （実務経験あり）
単位数	2 単位			
開講学期	前後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学概論で学習した診断、治療を応用し中医学、経絡治療の考え方を学ぶために、担当教員の外部治療院での臨床経験を活かして、東洋医学的な医療面接や四診から証立てや配穴を導き出し、治療に必要な技術を教授していく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	１．東洋医学的な医療面接について理解する。 ２．四診を理解する。 ３．東洋臨床診察治療学で学習した診断、治療を応用し東洋医学的な治療に必要な技術を習得する。 ４．証立てから、配穴法を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編 ３．東洋医学臨床論（はりきゅう編）；東洋療法学校協会編
参考書	１．日本鍼灸医学；経絡治療学会編纂
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） １．期末(到達目標達成確認)試験：90% ２．身だしなみなど衛生的配慮、受け手評価シート：10%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験、身だしなみなど衛生的配慮、受け手評価シートの評価を合計して 60%以上により履修とする。この科目は専門分野・実習・応用はりきゅう実技Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．東洋医学的な治療を体得できるよう、反復練習をすること。 ２．施術する経穴を十分理解すること。 ３．授業では、実技の前に講義とデモンストレーションがあるのでノートをとりながら、話をよく聞くこと。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	望診（舌診）	1. 舌診について説明できる。 2. 舌診から証立てができる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	2	問診①（問診の進め方・主訴・基本的問診事項）	1. 問診項目について説明できる。 2. 問診から証立てができる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	3	問診②（基本的問診事項）		実習
	4	切診①（腹診）	1. 腹診について説明できる。 2. 腹診から証立てができる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	5	切診②（脈診１）	1. 脈診について説明できる。 2. 脈診から証立てができる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	6	切診③（脈診２）		実習
	7	弁証①　2）気血津液弁証①	1. 気の病証について説明できる。 2. 血の病証について説明できる。 3. 津液の病証について説明できる。 4. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	8	弁証②　2）気血津液弁証②		実習
	9	前期確認試験		試験
	10	まとめ	フィードバック	実習
	11	弁証③　3）臓腑弁証①（肝と胆）	1. 肝の病証について説明できる。 2. 胆の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	12	弁証④　3）臓腑弁証②（心と小腸）	1. 心の病証について説明できる。 2. 小腸の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	13	弁証⑤　3）臓腑弁証③（脾と胃）	1. 脾の病証について説明できる。 2. 胃の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	14	弁証⑥　3）臓腑弁証④（肺と大腸）	1. 肺の病証について説明できる。 2. 大腸の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	15	弁証⑦　3）臓腑弁証⑤（腎と膀胱）	1. 腎の病証について説明できる。 2. 膀胱の病証について説明できる。 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	16	弁証⑧　4）臓腑相関弁証	1. 臓腑相関弁証について説明できる。 2. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	17	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	18	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
後期	19	経絡治療の歴史と概論	経絡治療の歴史と概論を説明することができる。	実習
	20	脈診（六部定位脈診の意味と方法） 腹部四穴の取穴と刺鍼	1. 六部定位脈診について説明することができる。 2. 腹部四穴の取穴と刺鍼ができる。	実習
	21	六部定位脈診と証立て	1. 六部定位脈診から証立てができる。	実習
	22	蔵象（肝）と肝虚証の取穴と刺鍼	1. 蔵象を理解することができる。 2. 四虚証の基本穴の取穴と刺鍼ができる。	実習
	23	蔵象（腎）と腎虚証の取穴と刺鍼		実習
	24	蔵象（脾）と脾虚証の取穴と刺鍼		実習
	25	蔵象（肺）と肺虚証の取穴と刺鍼		実習
	26	好企画人試験		試験
	27	まとめ	フィードバック	実習
	28	六部定位脈診から肝虚証の治療	六部定位脈診から証立てができ、治療を行うことができる。	実習
	29	六部定位脈診から腎虚証の治療		実習
	30	六部定位脈診から脾虚証の治療		実習
	31	六部定位脈診から肺虚証の治療		実習
	32	全身調整穴の意味と取穴と刺鍼	全身調整穴の意味を理解し、取穴と刺穴ができる。	実習
	33	総合演習	様々な症状に対して経絡治療を行うことができる。	実習
	34	総合演習		実習
	35	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	36	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2018 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　専門分野　実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】応用はりきゅう実技Ⅱ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	さかもと　しゅうじ 坂本　收司　（実務経験あり）	
単位数	2 単位			
開講学期	前後期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸医学の治療法には様々な対応方法がある。施術者は一つの治療法のみに固執することなく、患者の様々な愁訴、要望に合わせて最も効果的な治療方法を選択しなければならない。 外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、伝統的な刺鍼法や施灸法を実践できるようにすることを目的とする。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	患者の様々な愁訴や要望に合わせて最も効果的な治療を選択するために、1 年次で修得した基本技能をもとに、伝統的な刺鍼法・施灸法を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論；東洋療法学校協会編（医道の日本社） ２．はりきゅう実技〈実技編〉第 2 版；東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１．図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第 2 版；尾崎明弘著（医歯薬出版株式会社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験にて判断する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上により履修とする。この科目は専門分野・実習・応用はりきゅう実技Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 本授業では、特殊な鍼灸技術も学習します。場合によっては危険を伴う手技もあるので、教員のデモンストレーションをよく見て、話をよく聞き、注意を怠らないでください。また、事故防止のため、指示された部位以外への施灸を禁止します。指示された施灸が終了した時点で、必ず指導教員に確認を求め、次の指示に従ってください。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	０．ガイダンス	特殊新法・特殊灸法を行うにあたっての注意点を説明できる。	実習
	2	１．透熱灸	米粒大と半米粒大を分けて施灸することができる。	実習
	3			
	4	２．温筒灸・艾条灸	温筒灸・艾条灸の使用用途を説明できる。 温筒灸・艾条灸を安全に行うことができる。	実習 実習
	5	３．知熱灸	知熱灸の使用用途を説明できる。 知熱灸を安全に行うことができる。	実習
	6	４．隔物灸(生姜灸・塩灸など)	知熱灸・深谷灸法・隔物灸の使用用途を説明できる。 温筒灸・艾条灸・隔物灸を安全に行うことができる。	実習 実習
	7	５．深谷灸法	深谷灸法の使用用途を説明できる。 深谷灸法を安全に行うことができる。	実習 試験
	8	まとめ		実習
	9	前期確認テスト		試験
	10	６．接触鍼法(散鍼)①鍠鍼など	散鍼の使用用途を説明できる。 散鍼を安全に行うことができる。	実習
	11	６．接触鍼法(散鍼)②毫鍼		実習
	12	７．小児鍼・灸法	小児鍼・小児灸の使用用途を説明できる。 小児鍼を安全に行うことができる。	実習
	13	８．皮内鍼・円皮鍼	皮内鍼・円皮鍼の使用用途を説明できる。 皮内鍼・円皮鍼を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	14	９．灸頭針法	灸頭針法の使用用途を説明できる。 灸頭針法を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	15			実習
	16			実習
	17	期末(到達目標達成確認)試験	（灸頭針法）	試験
	18	フィードバック		実習
後期	19	１０．耳鍼	耳鍼の使用用途を説明できる。 耳鍼を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	20	11．吸角	吸角の使用用途を説明できる。 吸角を安全に行うことができる。	実習
	21			実習
	22			実習
	23	12．低周波鍼通電療法①基本的使用方法 ②下肢 ③上肢 ④体幹	低周波鍼通の使用用途を説明できる。 低周波鍼通を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	24			実習
	25			実習
	26			実習
	27			実習
	28			実習
	29	まとめ(低周波鍼通電・吸角)		実習
	30	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	31	フィードバック		実習
	32	13．頭皮部(百会)・顔面部(胡桃灸・眼瞼知熱灸)への施灸	頭皮部・顔面部への施灸の使用用途を説明できる。 頭皮部・顔面部への施灸を安全に行うことができる。	実習
	33			実習
	34	14．顔面部への刺鍼	顔面部への刺鍼の使用用途を説明できる。 顔面部への刺鍼を安全で衛生的に行うことができる。	実習
	35			実習
	36			実習

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】応用はりきゅう実技Ⅲ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	おぐま　はやと 小熊　勇人（実務経験あり）	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	実習	18 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論で学習した東洋医学の考え方に基づいて、症例問題に取り組む。担当教員には外部治療院での臨床経験を活かして、東洋医学的な診断である証立てから、治療穴を導き、治療に必要な技術に関する実習を行う。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	将来の鍼灸臨床において患者の様々な愁訴に対応するために、以下の目標を位置づける。 １．気血津液病証の特徴的な症状を理解する。 ２．臓腑病証の特徴的な症状を理解する。 ３．四診（特に舌脈所見）を理解する。 ４．証立てについて理解する。 ５．配穴法について理解する。 ６．刺鍼技術を習得する。

【担当教員から】

教科書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編 ３．東洋医学臨床論；東洋療法学校協会編
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を実技試験によって達成しているかを評価する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上により履修とする。この科目は専門分野・実習・応用はりきゅう実技Ⅲの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 東洋医学的な治療を体得できるよう、施術する経穴を十分理解し、反復練習を行ってください。また、授業では、実技の前に講義とデモンストレーションがあるのでノートをとりながら、話をよく聞いてください。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	治療総論	1. 東洋医学的な考え方による治療原則について説明できる。 2. 選穴原則について説明できる。 ①近位配穴法、②遠位配穴法、③前後配穴法 ④上下配穴法、⑤表裏配穴法、⑥同経配穴法 ⑦同名配穴法、⑧原絡配穴法 3. 証立てに応じた選穴、刺鍼ができる。	実習
	2	症例問題①（気血津液弁証①）	1. 症例問題から証立てができる。 2. 証立てに適した選穴ができる。 3. 選穴理由を説明できる。 4. 証立てに応じた、刺鍼ができる。	実習
	3	症例問題②（気血津液弁証②）		実習
	4	症例問題③（臓腑弁証①　肝と胆）		実習
	5	症例問題④（臓腑弁証②　心と小腸）		実習
	6	症例問題⑤（臓腑弁証③　脾と胃）		実習
	7	症例問題⑥（臓腑弁証④　肺と大腸）		実習
	8	症例問題⑦（臓腑弁証⑤　腎と膀胱）		実習
	9	後期確認試験		試験
	10	まとめ	フィードバック	実習
	11	症例問題⑧（臓腑相関弁証①）	1. 症例問題から証立てができる。 2. 証立てに適した選穴ができる。 3. 選穴理由を説明できる。 4. 証立てに応じた、刺鍼ができる。	実習
	12	症例問題⑨（臓腑相関弁証②）		実習
	13	症例問題⑩（臓腑相関弁証③）		実習
	14	症例問題⑪（八綱弁証①）		実習
	15	症例問題⑫（八綱弁証②）		実習
	16	症例問題⑬（六経弁証）		実習
	17	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	18	まとめ	フィードバック	実習

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】はき適応疾患実習Ⅰ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	あだち　まさひこ 足立　昌彦（実務経験あり）	
単位数	2 単位			
開講学期	通期	授業形態･回数	実習	36 回

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、運動器疾患に対する刺鍼法や施灸法を実践できるようにすることを目的とする。腰痛、腰下肢痛、頚上肢痛、肩痛、膝痛を始め、その他の運動器系疾患（スポーツ障害を含む）で、はき臨床において最も高頻度に扱われる症候・愁訴に対する施術の要点について学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸にかかる患者の訴えで最も多い症状である腰痛・肩こり・膝痛・五十肩などの整形外科系運動器疾患に対する正確かつ衛生的で安全な鍼灸施術を身につけるために、具体的な診察方法や治療方法の基礎を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．臨床医学各論；東洋療法学校協会編（医歯薬出版株式会社） ２．臨床医学総論；東洋療法学校協会編（医歯薬出版株式会社） ３．その他、教材・資料プリント配布
参考書	１．図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第 2 版；尾崎明弘著（医歯薬出版株式会社）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを実技試験にて判断する。 ※後期期末試験は、「施術所における臨床実習前施術実技試験」として実施する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上により履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・実習・はき適応疾患実習Ⅰの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） ３年次に行う臨床実習に必要不可欠な授業であるため、出席状況が技術の習熟度に直結するといっても過言ではありません。また、グループを組んで行う内容もあるので、欠席や遅刻、早退などは授業内容が理解できなくなるだけでなく、クラスメイトにも迷惑をかけます。体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	１．授業ガイダンス ２．痛みについて	運動器系疾患に特徴的な痛みについて概説できる。	講義･実習
	2	３．腰部へのアプローチ①	鍼灸適応となる腰痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた腰部の触診を的確に行うことができる。 腰部に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	3	３．腰部へのアプローチ②		実習
	4	４．腰下肢部へのアプローチ（股関節を含む）①	鍼灸適応となる腰下肢痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた腰下肢部の触診を的確に行うことができる。 腰下肢部に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	5	４．腰下肢部へのアプローチ（股関節を含む）②		実習

	6	４．腰下肢部へのアプローチ（股関節を含む）③		実習
	7	頸肩背部へのアプローチ（後頭髪際を含む）①	鍼灸適応となる頸肩背痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた頸肩背部の触診を的確に行うことができる。 頸肩背部に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	8	頸肩背部へのアプローチ（後頭髪際を含む）②		実習
	9	前期確認テスト	（対人施灸：腰背部）	試験
	10	頸肩背部へのアプローチ（後頭髪際を含む）③	鍼灸適応となる頸肩背痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた頸肩背部の触診を的確に行うことができる。 頸肩背部に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	11	頸肩背部へのアプローチ（後頭髪際を含む）④		実習
	12	肩関節部へのアプローチ①	鍼灸適応となる肩関節痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた肩関節周囲部の触診を的確に行うことができる。 肩関節周囲部に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	13	肩関節部へのアプローチ②		実習
	14	肩関節部へのアプローチ③		実習
	15	肩関節部へのアプローチ④		実習
	16	まとめ		実習
	17	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	18	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
後期	19	膝関節部へのアプローチ①	鍼灸適応となる膝関節痛に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた膝関節周囲部の触診を的確に行うことができる。 膝関節周囲部に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	20	膝関節部へのアプローチ②		実習
	21	膝関節部へのアプローチ③		実習
	22	膝関節部へのアプローチ④		実習
	23	上肢全般部へのアプローチ①	鍼灸適応となる上肢症状に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた上肢の触診を確実に行うことができる。 上肢に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	24	上肢全般部へのアプローチ②		実習
	25	上肢全般部へのアプローチ③		実習
	26	後期確認テスト		試験
	27	下肢全般部へのアプローチ①	鍼灸適応となる下肢症状に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた下肢の触診を確実に行うことができる。 下肢に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	28	下肢全般部へのアプローチ②		実習
	29	下肢全般部へのアプローチ③		実習
	30	スポーツ障害へのアプローチ①	鍼灸適応となるスポーツ傷害に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた罹患部の触診を的確に行うことができる。 罹患部に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	31	スポーツ障害へのアプローチ②		実習
	32	スポーツ障害へのアプローチ③		実習
	33	全身総合アプローチ①	鍼灸適応となる運動器系疾患に対する治療穴の選定ができる。 治療穴を含めた罹患部の触診を的確に行うことができる。 治療部位に対して衛生的で安全な施術を行うことができる。	実習
	34	全身総合アプローチ②		実習
	35	後期期末試験シミュレーション		実習
	36	期末(到達目標達成確認)試験	※「施術所における臨床実習前施術実技試験」として実施	試験

2018 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　専門分野　臨床実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床実習Ⅱ

【基本情報】

配当年次	2 学年	主担当教員	はたけやま　ひろのり 畠山　博式	
単位数	1 単位			
開講学期	通期	授業形態･回数	臨床実習	45 時間

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、はりきゅう施術における基本的臨床能力を身につけさせるために付属施術所内にて臨床実習を行う。 ２年次に学習する医療面接・身体診察法を、教員・施術所スタッフの指導のもと附属鍼灸施術所に通われている一般患者に対して実践し、患者の鑑別・病態把握に向けて何が必要であるかを学習することを目的とする。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	将来はり師、きゅう師としての自立するために、施術チームの一員として指導教員の指導・監督の下、外来患者の診療のうち医療面接と身体診察を実践し、またクルズスを通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに臨床に必要な知識と技能の基本を習得する。

【担当教員から】

教科書	―
参考書	―
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかをポートフォリオ等下記の内容を総合的に判断する。ただし、割り当てられた全てのローテーションへの出席を必要とする。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．ポートフォリオの提出：30% ２．実習班担当者の評価（ルーブリック評価）：50% ３．ｽﾓｰﾙｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ（SGD）での発言・態度（ルーブリック評価）：20%
履修の条件 留意点	この科目は専門分野・臨床実習・臨床実習Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．附属施術所での行動内容の確認や身だしなみのチェックをグループ内で行うこと。 ２．実習終了後は、施術所内での行動等を各自並びにグループとして十分に振り返り、ポートフォリオの作成を行い、後日指示に従ってポートフォリオの提出を行うこと。 ３．予習、復習はおおむね実習時間と同等を目安とする。 ４．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・臨床実習責任者へ連絡すること。また、附属施術所における実習の場合には同時に附属施術所へも連絡を入れること。 ５．授業の初回と各ガイダンスには必ず参加し、指示に従うこと。 ６．自身の健康管理に留意すること。 ７．重要掲示板または教室に掲示する「早期臨床体験実習Ⅱ　臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に出席すること。
オフィスアワー	適宜３F 教員室を訪ねること。

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1. 施術所における予診・医療面接・身体診察実習 (PMIP;Preliminary examination・Medical Interview・Physical exam.practice) 1)小グループによるローテーションとする。 2)指導教員の下で、施術所一般患者に対して医療面接・身体診察を行い、指導教員と共に臨床推論を行う。また同時に施術の観察、施術前後の付帯業務の補助、状況によっては施術補助を行う。 3)指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 2.クルズス 1)観察・施術補助した症例あるいは与えられた課題疾患について調べる。 2)指導教員と症例あるいは課題について討論して意見交換を行う。 3)指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 3.ＳＧＤ 1)上記1､2で提出したポートフォリオから指定された課題についてＫＪ法により各自抽出し､グループ内で共通事項をまとめる。 2)プレゼン資料を作成する。 3)資料(配布またはパワーポイント)にもとづいて発表をする。 4)討論して意見交換を行う。 4.トータルレビュー(ＴＲ) 1)上記3の内容の共有事項を実習担当者から指導を受ける。 2)討論して意見交換を行う。	・患者に対し、適切な接遇・共感的な態度を表現できる。 ・患者・利用者の心理と不安などに配慮できる。 ・予診に必要な項目を理解できる。 ・医療面接に必要な項目を理解し、実践できる。 ・患者の愁訴に応じた身体診察を実践できる。 ・医療面接や身体診察を通じ、病態の推察について理解できる。 ・自己の臨床能力を評価できる。 ・他からの臨床能力評価を受け入れる。	臨床実習又は演習

2018 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　臨床実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床実習Ⅲ

【基本情報】

配当年次	1 学年	主臨床実習調整者	はたけやま　ひろのり 畠山　博式	
単位数	1 単位			
開講学期	通期	授業形態･回数	臨床実習	45 時間

【授業情報】

授業概要	市中のあはき治療院、学外の診療所、大学附属病院などの現代西洋医学の医療施設、および介護関連施設（デイケア、デイサービス等）、スポーツ関連施設での見学実習を行う。医療・介護・スポーツ現場の見学を通じて、医療人としてのはり師・きゅう師の役割について理解し、はり師・きゅう師がどのように医療に係わるべきかを学習することを目的とする。 また、開業鍼灸師の施術現場を見学を通じて、開業鍼灸師の役割を理解することも目的とします。特に市中のあはき治療院においては、実務経験のある臨床実習指導者講習会修了の開業鍼灸師の指導のもと臨床実習を行う。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	将来はり師、きゅう師として自立するために、実際の鍼灸・医療・福祉・スポーツ現場の見学・体験をすることにより、将来の活躍の場となる自分の姿を想起し、医療人としての自覚を高める。

【担当教員から】

教科書	―
参考書	―
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかをポートフォリオ等下記の内容を総合的に判断する。ただし、割り当てられた全てのローテーションへの出席を必要とする。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） １．ポートフォリオの提出：30% ２．実習班担当者の評価（ルーブリック評価）：50% ３．ｽﾓｰﾙｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ（SGD）での発言・態度（ルーブリック評価）：20%
履修の条件 留意点	この科目は専門分野・臨床実習・臨床実習Ⅲの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．実習先での行動内容の確認や身だしなみのチェックは事前に行うこと。 ２．実習終了後は、施術所内での行動等を各自で十分に振り返り、ポートフォリオの作成を行い、後日指示に従ってポートフォリオの提出を行うこと。 ３．予習、復習はおおむね実習時間と同等を目安とする。 ４．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・臨床実習責任者へ連絡すること。 ５．ガイダンスには必ず参加し、指示に従うこと。 ６．自身の健康管理に留意すること。 ７．教室掲示または各自に手渡される「外部施設臨床実習　臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に遅れることの無いよう実習先に到着すること。
オフィスアワー	適宜３F 教員室を訪ねること。

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1. 市中施術所での見学実習 2. 診療所・病院での外来見学実習 3. スポーツ関連施設での見学実習 4. 介護老人保健施設での見学実習 5. ｽﾎﾟｰﾂ関連ｲﾍﾞﾝﾄにおけるケアステーション活動での見学実習 1) ８～10 時間/施設(ｲﾍﾞﾝﾄ)の見学実習を行う。 2) 指導者の下で、施術所一般患者の施術、一般業務を観察する。また、施術所内の付帯業務の補助、状況によっては施術補助を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 6. クルズス ※臨床実習指導者や医師等の指導担当者が実習において必要と判断された場合に実施される。 1) 観察・施術補助した症例あるいは与えられた課題疾患について調べる。 2) 指導者と症例あるいは課題について討論して意見交換を行う。 3) 指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 3. ＳＧＤ(2 時間) 1) 上記 1､2 で提出したポートフォリオから指定された課題についてＫＪ法により各自抽出し､グループ内で共通事項をまとめる。 2) プレゼン資料を作成する。 3) 資 料 (配布またはパワーポイント)にもとづいて発表をする。 4) 討論して意見交換を行う。 4. トータルレビュー(TR：2 時間) 1) 上記 3 の内容の共有事項を実習担当者から指導を受ける。 2) 討論して意見交換を行う。	・外部施設臨床実習の意義と目的を理解できる。 ・能動的・積極的な姿勢で実習に参加できる。 ・体験して感じたこと振り返り、考える習慣を身につけることができる。 ・医療人として相応しい行動を実践できる。 ・各施設の役割、地域における医療・福祉体制を理解できる。 ・患者、利用者、参加者、家族、スタッフと積極的かつ適切なコミュニケーションを図ることができる。 ・患者、利用者、参加者、家族、スタッフに対し、適切な接遇・共感的な態度を表現できる。 ・各施設・現場の専門家・スタッフの役割を理解し、共に働く意識を涵養できる。 ・医療者・患者・利用者関係における多様なコミュニケーションの重要性について討議できる。	臨床実習又は演習

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】臨床総合講座Ⅱ

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	あいだ　のりこ 相田　典子	
単位数	1 単位			
開講学期	1 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	中国医学史、西洋医学史、日本医学史を学び、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう（以下、あはき）の歴史を日本と諸外国の歴史とを比較しながら学んでいく。また、医療従事者としての自覚と責任感を持てるよう、職業倫理を学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	代替医療や統合医療における鍼灸の位置づけや役割を理解し、はり師、きゅう師としてわが国の衛生状態の向上の一助となるために、医療の歴史についての知識を習得する。

【担当教員から】

教科書	１．「医療概論」; 東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株) ２．「衛生学・公衆衛生学」第２版 ; 東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株) ３．「新版 東洋医学概論」; 東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株)
参考書	１．「医学史への誘い」; 酒井シヅ著, 診療新社 ２．「社会あはき学」; 東洋療法学校協会編, 医道の日本社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験（年度末試験含む）：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上と年度末試験の合格により履修とする。【年度末試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・臨床総合講座Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．HR にて教科書や配布プリント等を用いて、講義形式で行います。 ２．授業ではノートを取ったり、プリントに記入したりしながら、話をよく聴いてください。 ３．授業中は机上に飲み物や食べ物を置かないでください。 ４．携帯電話の電源は切ってください。どうしても携帯電話の使用が必要な場合は申し出てください。 ５．欠席した場合の配付資料はクラスメートにもらってもらうか、次の授業までに教員室にもらいに来てください。
オフィスアワー	授業開講日の 17:45～18:00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	中国の医学史①	鍼・灸・按摩・湯液の起源を述べられる。 夏～春秋時代から清の時代以降までの中国における医学の歴史を説明できる。	講義
	2	中国の医学史②		講義
	3	西洋医学史①	古代ギリシャ･ローマ時代から近代ヨーロッパにおける医学の歴史を 説明できる。	講義
	4	西洋医学史②		講義
	5	西洋医学史③		講義
	6	日本の医学史①	奈良時代以前から明治時代以降のわが国の医学の歴史を説明できる。 わが国のあはきの歴史を説明できる。	講義
	7	日本の医学史②		講義
	8	あはきの歴史	わが国に渡ってから発展した鍼術、灸術の歴史を説明できる。 わが国に渡ってから発展したあん摩術､マッサージ術の歴史を説明できる。 指圧の歴史を説明できる。	講義
	9	代替医療・統合医療	代替医療・統合医療の概要を理解することができる。	講義
	10	医療連携について	地域包括ケアシステムの概要を理解することができる。 地域における医療との連携の重要性を理解することができる。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	13	年度末試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　選択科目

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】病態生理Ⅰ（内科診断学）

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	むらせ　のりお 村瀬　訓生（実経験有り）	
単位数	1 単位			
開講学期	1・2 学期	授業形態･回数	講義	12 回

【授業情報】

授業概要	はり師・きゅう師（以下、鍼灸師）が医療連携を行っていく上で、病院等の医療関係者が患者にどの様な視点で係わっているのかを理解する必要がある。そこで、医師免許を有する内科医が臨床現場での経験を活かし、内科医が普段どの様な視点で診察を行っているかを理解し、あはき臨床に応用できる診察法を学んでいくために、学園付属の呉竹メディカルクリニックの医師が内科診断のポイントを教授する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸師が医療連携を行っていくために、内科の診察法を理解するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	特に指定しない。
参考書	１.「フィジカルアセスメントがみえる　第１版」; メディックメディア ２.「ビジュアルノート　第５版」; メディックメディア ３.「内科診断学第３版」; 医学書院 ４.「メルクマニュアル医学百科 家庭版」; URL;http://mmh.banyu.co.jp/index.html
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上により履修とする。この科目は選択科目・内科診断学の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．西洋医学と東洋医学、それぞれの特徴（長所と欠点）を理解してほしい。また、西洋医学における診断に至るまでの過程を理解してほしい。 ２．試験問題は講義中に紹介する。また、練習問題からも出題する。 ３．第１回目の授業は５月１７日（金）の予定。なお、全 11 回の講義・実習と期末試験の日程は４月上旬に掲示する。 ４．講義は８Ｆ実技室で行うが、第 10 回は５Ｆ講堂・柔道場で行う。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
１期	1	内科診断の進め方	西洋医学における診察の基礎が理解できる。	講義
	2	現症のとり方 問診・バイタルサイン①	内科的問診のとり方を理解できる。 バイタルサインが説明できる。 バイタルサインの確認が実践できる。	講義･実習
	3	現症のとり方 問診・バイタルサイン②		講義･実習
	4	理学的診断法① 心疾患の病態と診断の基本	主な心疾患の病態が理解できる。 心疾患の診断の基本が理解できる。	講義･実習
	5	理学的診断法② 呼吸器の病態と診断の基本	主な心疾患の病態が理解できる。 心疾患の診断の基本が理解できる。	講義･実習
	6	理学的診断法③ 消化器疾患の病態と診断の基本	主な消化器疾患の病態が理解できる。 消化器疾患の診断の基本が理解できる。	講義･実習
	7	理学的診断法④ 神経系疾患の病態と診断の基本	主な神経系疾患の病態が理解できる。 神経系疾患の診断の基本が理解できる。	講義･実習
	8	代謝･内分泌疾患 病態と診断の基本 血液検査の評価	主な代謝・内分泌疾患の病態が理解できる。 代謝・内分泌疾患の診断の基本が理解できる。 代謝・内分泌疾患を評価する血液検査項目が理解できる。	講義･実習
	9	ＥＢＭ（科学的根拠に基づいた医療）の演習	ＥＢＭの意味を説明できる。 ＥＢＭに基づいた診察法を実践できる。	演習
	10	肥満者生活指導に関する演習	肥満者への生活指導について説明できる。	講義･実習
	11	ＡＥＤ実習	ＣＰＲの基本について説明できる。 ＡＥＤの基本的な使用方法が説明できる。	講義･実習
	12	期末(到達目標達成確認)試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　選択科目

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】病態生理Ⅱ（整形外科学）

【基本情報】

配当年次	2 学年	担当教員	ありさわ　おさむ 有澤　治（実務経験有り）	
単位数	2 単位			
開講学期	2・3 学期	授業形態･回数	講義	24 回

【授業情報】

授業概要	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師（以下、あはき師）が医療連携を行っていく上で、病院等の医療関係者が患者にどの様な視点で係わっているのかを理解する必要がある。そこで、医師免許を有する整形外科医が臨床現場での経験を活かし、普段どの様な視点で診察を行っているかを理解し、あはき臨床に応用できる診察法を学んでいくために、学園付属の呉竹メディカルクリニックの医師が整形外科診断のポイントを教授する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	あはき師が医療連携を行っていくために、整形外科の診察法を理解するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	特に指定しない。
参考書	１.「臨床医学各論」; 東洋療法学校協会編, 医師薬出版
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験で評価する。
成績評価方法	成績評価の基準と算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：１００%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験の評価を合計して 60%以上により履修とする。この科目は選択科目・整形外科学の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の 70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．講義は３時限目(13：30～15：00)で行われます。 ２．西洋医学における診断に至るまでの過程を理解してほしい。 ３．診断学の基礎となる科目であるため、授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。ノートを取るだけでなく、話をよく聞くこと。 ４．試験は講義内容より出題します。是非理解してもらいたい箇所は講義中にお話ししながら進めます。 ５．全 22 回の講義・実習と期末試験の日程は７月上旬に掲示する予定。
オフィスアワー	授業開講日の 12：45～13：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
２期	1	総論	整形外科の概要が理解できる。	講義
	2	画像診断の進め方①　Ｘ線	画像診断の進め方が理解できる。 Ｘ線所見による診断の進め方が理解できる。	講義
	3	画像診断の進め方② ＭＲＩ・ＣＴ・各種撮影法	ＭＲＩ・ＣＴ・各種撮影法による診断の進め方が理解できる。	講義
	4	頚椎疾患①	頸椎疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 頸椎疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	5	頚椎疾患②		講義
	6	肩関節疾患①	肩関節疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 肩関節疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	7	肩関節疾患②		講義
	8	肩関節疾患③		講義
	9	上肢の疾患	上肢の疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 上肢の疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	10	上肢の末梢神経障害	上肢の末梢神経障害の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 上肢の末梢神経障害の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	11	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	12	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
３期	13	腰椎疾患①	腰椎疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 腰椎疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	14	腰椎疾患②		講義
	15	腰椎疾患③		講義
	16	膝関節疾患①	膝関節疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 膝関節疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	17	膝関節疾患②		講義
	18	下肢の疾患	下肢の疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 下肢の疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	19	感染症疾患	感染症疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 感染症疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	
	20	スポーツ疾患	スポーツ疾患の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 スポーツ疾患の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	21	高齢者の外傷	高齢者の外傷の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 高齢者の外傷の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義
	22	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	23	期末試験の解説・解答　まとめ		講義
	24	多発外傷と難治性骨折	多発外傷と難治性骨折の理学的所見を中心に診察の進め方が理解できる。 多発外傷と難治性骨折の西洋医学的治療方法が理解できる。	講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門基礎分野　人体の構造と機能

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】人体構造機能学Ⅲ

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	さかもと　しゅうじ 坂本　收司	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	生体の構造機能を学ぶことは医学的な専門科目を学ぶ上での基礎となり、正常な構造機能が破綻した状態である疾病を理解するための基盤として重要であるため、人体の正常な構造機能を学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	人が罹患する疾病を理解するために、医療従事者の共通用語である人体の各器官の機能について理解するとともに、その評価方法についても学習する。

【担当教員から】

教科書	１.「解剖学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株) ２.「生理学」第３版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験、その日の最重要点を簡潔に述べていることをまとめた授業振り返りシートの内容を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．定期(到達目標達成確認)試験：80% ２．授業振り返りシート：20%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験、授業振り返りシートの評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・人体の構造と機能・人体構造機能学Ⅲの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。 なお、本科目の単位取得のためには、授業の70%以上の出席が必要ですので、 体調管理をしっかり行い、出欠には十分に留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	内分泌器の構造①	内分泌器官の一般的構造を説明できる。 下垂体・松果体・甲状腺・副腎・膵臓の特徴を説明できる。	講義
	2	内分泌器の構造②		講義
	3	内分泌器の機能①	内分泌器官の一般的機能を説明できる。 下垂体（前葉・後葉）・松果体・甲状腺・副甲状腺・副腎（皮質・髄質）・膵臓・その他のホルモンの機能を説明できる。	講義
	4	内分泌器の機能②		講義
	5	内分泌器の機能③		講義
	6	内分泌器の機能④		講義
	7	骨格筋の構造と働き①	筋収縮の仕組み・筋のエネルギー供給の仕組み・心筋と平滑筋の構造と働きを説明できる。	講義
	8	骨格筋の構造と働き②		講義
	9	中間(到達目標達成確認)試験		試験
	10	中間試験の解説・解答　まとめ		講義
	11	運動の調節①	骨格筋の神経支配・運動の調節（脊髄・脳幹・小脳・大脳基底核・大脳皮質）・錐体路・錐体外路・発声と言語について説明できる。	講義
	12	運動の調節②		講義
	13	運動の調節③		講義
	14	運動の調節④		講義
	15	生体の防御機能①	生体の防御機能・免疫反応について説明できる。	講義
	16	生体の防御機能②		講義
	17	ホメオスタシスと生体リズム①	生体の適応･恒常性維持･バイオリズムについて説明できる。	試験
	18	ホメオスタシスと生体リズム②		講義
	19	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	20	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】専門基礎分野 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】疾病各論Ⅲ

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	いけざき　そのえ 池崎　園江	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	1、2 年時に学んだ人体についての解剖学・生理学をもとに、人体の機能が正常に働かなくなった状態である疾病について学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	鍼灸の適応か否かの鑑別ができるようになるために、主要疾患の特徴や必要な知識を身につける。

【担当教員から】

教科書	１．「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	１．「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進・疾病各論Ⅲの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業内容は実技科目と臨床実習が関連するため、積極的な学習姿勢が望まれます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	整形外科疾患①　筋・腱疾患	主な筋・腱疾患について説明できる。	講義・演習
	2	整形外科疾患② 骨代謝疾患・骨腫瘍、外傷	主な骨代謝疾患について説明できる。 主な骨腫瘍について説明できる。 主な外傷について説明できる。	講義・演習
	3	整形外科疾患③　背部の診察	整形外科疾患に関する背部の診察について説明できる。	講義・演習
	4	リウマチ性疾患・膠原病① リウマチ性疾患	主なリウマチ性疾患について説明できる。 リウマチ性疾患に関する上司の診察について説明できる。 免疫血清学的検査について説明できる。	講義・演習
	5	リウマチ性疾患・膠原病②　膠原病①	主な膠原病について概説できる。 膠原病の検査について説明できる。	講義・演習
	6	リウマチ性疾患・膠原病③　膠原病②		講義・演習
	7	一般外科①　損傷概論・ショック	損傷概論について説明できる。 ショックについて説明できる。	講義・演習
	8	一般外科②　救急処置・救急蘇生法 麻酔科①　全身麻酔	救急処置・救急蘇生法について説明できる。 全身麻酔について説明できる。	講義・演習
	9	中間(到達目標達成確認)試験		試験
	10	中間試験の解説・解答　まとめ		講義
	11	麻酔科② 局所麻酔、ペインクリニック	局所麻酔について説明できる。 ペインクリニックについて説明できる。	講義・演習
	12	婦人科疾患 子宮筋腫、子宮癌、乳癌、 更年期障害	子宮筋腫、子宮癌、乳癌、更年期障害についてそれぞれ説明できる。	講義・演習
	13	皮膚疾患 接触性皮膚炎、じんま疹、 アトピー性皮膚炎	接触性皮膚炎、じんま疹、アトピー性皮膚炎についてそれぞれ説明できる。	講義・演習
	14	眼科疾患 目の診察、結膜炎、角膜炎、麦粒腫（ものもらい）、白内障、緑内障	目の診察、結膜炎、角膜炎、麦粒腫（ものもらい）、白内障、緑内障についてそれぞれ説明できる。	講義・演習
	15	耳鼻科疾患 メニエール病、中耳炎、突発性難聴、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎	メニエール病、中耳炎、突発性難聴、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎についてそれぞれ説明できる。	試験
	16	小児科疾患 精神科疾患①　神経症	主な小児科疾患について説明できる。 神経症について説明できる。	演習
	17	精神科疾患② 統合失調症、躁鬱病（気分障害）	統合失調症について説明できる。 躁鬱病（気分障害）について説明できる。	演習
	18	心療内科疾患 心身症、神経性食思不振症、 神経性過食症	心身症、神経性食思不振症、神経性過食症についてそれぞれ説明できる。	演習
	19	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	20	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】病理学

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	ふかやま　ちとせ 深山　千歳	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	病理学とは、生体に起こる病的な状態、すなわち疾病の本態を解明する学問である。疾病はその成り立ちから、先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍の五つの病変カテゴリーに分類されるが、それらの病変カテゴリーを学び、疾病を起こす原因、それぞれの疾病で生じる変化、その経過、疾病がたどる転帰を総合的にとらえるように学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	疾病の全体像、すなわち原因、経過、治療法、予後、および結末を総合的に理解するために、疾病における形態と機能の変化、および本態を学習する。

【担当教員から】

教科書	１．「病理学概論」第２版；東洋療法学校協会編, 医歯薬出版(株)
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、中間試験と期末試験を合わせて総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進・病理学の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くことに努めてください。疾病各論の基礎となる科目ですので、各論の理解のためにも充分な学習が必要です。そのためにも、教科書は講義内容が理解できるようによく読んで準備してください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	病理学とはどのような学問か 疾病についての基本的な考え方	病理学とはどのような学問かを理解できる。 疾病についての基本的な考え方を説明できる。	講義
	2	病因①　内因（素因・遺伝・内分泌・免疫・心因性疾患）	内因についてそれぞれ説明できる。	講義
	3	免疫異常・アレルギー① 1）免疫の一般　2）液性免疫と細胞性免疫　3）アレルギーの分類	免疫異常・アレルギーについてそれぞれ説明できる。	講義
	4	免疫異常・アレルギー② 4）免疫不全　5）自己免疫疾患		講義
	5	病因②　外因① 1）栄養素の供給障害 2）物理的病因　3）化学的病因	外因についてそれぞれ説明できる。	講義
	6	病因②　外因② 4）生物学的病因　5）小児の疾患		講義
	7	循環障害① 1）ヒトの循環器系　2）充血・うっ血 3）貧血・虚血　4）出血	循環障害についてそれぞれ説明できる。	講義
	8	循環障害② 5）血栓症　6）塞栓症　7）梗塞 8）水腫・浮腫・脱水　9）ショック		講義
	9	中間（到達目標達成確認）試験		試験
	10	中間試験の解説・解答　まとめ		講義
	11	退行性病変 1）萎縮　2）変性　3）壊死と死	退行性病変についてそれぞれ説明できる。	講義
	12	進行性病変① 1）肥大と増殖　2）再生　3）化生	進行性病変についてそれぞれ説明できる。	講義
	13	進行性病変②　4）移植　5）創傷治癒・組織内異物の処理		講義
	14	炎症①　1）炎症の一般	炎症についてそれぞれ説明できる。	講義
	15	炎症②　2）炎症の分類		講義
	16	腫瘍①　1）腫瘍の一般	腫瘍についてそれぞれ説明できる。	講義
	17	腫瘍②　2）良性腫瘍　3）悪性腫瘍		講義
	18	先天性異常 1）先天性異常総論 2）遺伝性疾患　3）染色体異常	先天性異常について説明できる。 遺伝性疾患について説明できる。 染色体異常について説明できる。	講義
	19	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	20	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】専門基礎分野　疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】リハビリテーション医学Ⅱ

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	にしおか　たけゆき 西岡　岳之	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	リハビリテーションは運動機能、日常生活活動の能力の障害を回復させ、社会・環境への適応を促進するために必要な第４の医学と呼ばれる。ここでは、リハビリテーション医学を理解し、障害と障害者への対応の概念を疾患別に学ぶ。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	リハビリテーションの概念を理解するために、疾患別の障害の定義、分類について習得する。

【担当教員から】

教科書	１.『リハビリテーション医学』学校協会編
参考書	１.『標準リハビリテーション医学』医学書院 ２.『理学療法ハンドブック』協同医書出版社 ３.『障害と活動の測定・評価ハンドブック』南江堂
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門基礎分野・疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進・リハビリテーション医学Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） リハビリテーション医学は「人間たるにふさわしい状態になる」という意味です。中世では「名誉の回復」という法律用語として使用されてきました。従って、本学問は「人間たるにふさわしい状態になる」ために行うアプローチ（対応）の体系です。疾病や障害によって、出来ないことできるようになるといった単なる機能の回復という狭い意味ではなく、権利・資格・名誉の回復など人間らしく生きる権利の回復を目指すものです。本科目を通じて、疾病や障害をもちながらもそこで生活する「その人」とどう関わり、その関わりから何を学ぶかをという基本姿勢を軸に学習してください。 また、授業毎に前回授業分の小テストを実施し、授業の習熟度を確認します。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	脳卒中の リハビリテーション	機能障害、対応が説明できる。	講義
	2			講義
	3			講義
	4	脊髄損傷の リハビリテーション	機能障害、対応が説明できる。	講義
	5			講義
	6	切断のリハビリテーション	原因と分類、合併症、対応が説明できる。	講義
	7	小児のリハビリテーション	脳性麻痺の定義と分類、随伴症状、対応が説明できる。	講義
	8			講義
	9	中間(到達目標達成確認)試験		試験
	10	中間試験の解説・解答　まとめ		講義
	11	骨関節疾患	五十肩～変形性膝関節症の評価、対応、生活指導が説明できる。	講義
	12	関節リウマチ	変形性股関節症～関節リウマチの評価、対応、生活指導が説明できる。	講義
	13	末梢神経障害、パーキンソン病	評価、対応、障害の特徴が説明できる。	講義
	14	呼吸器・心疾患	症状、治療と対応、リスク管理が説明できる。	講義
	15	運動学の基礎	姿勢とその異常、運動路と感覚路、反射と随意運動が説明できる。	講義
	16	身体各部の機能	体幹・四肢の機能について説明ができる。	講義
	17	歩行と異常歩行	歩行のメカニズムが説明できる。	講義
	18	顔面及び頭部の筋	異常歩行と原因疾患、顔面及び頭部の筋が説明できる。	講義
	19	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	20	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　臨床はり学、臨床きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】症候診断治療学Ⅱ

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	かわすみ　ゆうこ 川澄　裕子	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	臨床上遭遇しやすい症候に対して、東洋医学と現代医学からそれらの原因疾患を理解し、適切な施術が行えるように学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	臨床上遭遇しやすい症候に対して、東洋医学的な考え方、現代医学的考え方から原因や疾患の概念を理解するために、疾患・症状別の病態把握、鑑別に必要な検査法、原因疾患を推測する力、適応となる疾患の治療方針（治療部位、経穴）を考える力を修得する。

【担当教員から】

教科書	１．「東洋医学臨床論」〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編，医道の日本社 ２．「東洋医学臨床論」〈あん摩マッサージ指圧偏〉；東洋療法学校協会編，医道の日本社 ３．「臨床医学各論」；東洋療法学校協会編，医歯薬出版（株） ４．「臨床医学総論」；東洋療法学校協会編，医歯薬出版（株）
参考書	１．「新版　東洋医学概論」；東洋療法学校協会編，医道の日本社 ２．「新版　経絡経穴概論」；東洋療法学校協会編，医道の日本社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験、授業振り返りシートの内容を総合的に評価する。 授業振り返りシート：授業終了時に配布した用紙にその日の最重要点を簡潔まとめさせ、その内容の出来不出来によって算定される。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期（到達目標達成確認）試験：80% 授業振り返りシート：20%
履修の条件 留意点	定期（到達目標達成確認）試験、授業振り返りシートの評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床はき学・症候診断治療学Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） ・授業は各症候に対し、現代医学と東洋医学両方の内容から行います。『臨床医学各論』『臨床医学総論』『東洋医学臨床論』の教科書を授業で使いますので持ってきてください。 ・授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。 ・授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 ・東洋医学には独特の考え方があるので、現代医学理論にこだわらないでください。 ・欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなります。体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	胸痛	1. 各症状の原因疾患を列挙することができる。 2. 施術の適応となる疾患の特徴、症状を列挙することができる。 3. 鑑別に必要な検査法を列挙することができる。 4. 鑑別検査の結果により、原因疾患を推測することができる。 5. 各症候の東洋医学的考え方を述べることができる。 6. 各症候の東洋医学での病態を説明することができる。 7. 適応となる疾患の治療方針、治療穴を列挙することができる。	講義
	2	腹痛		講義
	3	悪心と嘔吐		講義
	4	便秘・下痢		講義
	5	排尿障害		講義
	6	インポテンツ		講義
	7	高血圧		講義
	8	低血圧		講義
	9	中間(到達目標達成確認)試験		試験
	10	中間試験の解説・解答　まとめ		講義
	11	食欲不振	1. 各症状の原因疾患を列挙することができる。 2. 施術の適応となる疾患の特徴、症状を列挙することができる。 3. 鑑別に必要な検査法を列挙することができる。 4. 鑑別検査の結果により、原因疾患を推測することができる。 5. 各症候の東洋医学的考え方を述べることができる。 6. 各症候の東洋医学での病態を説明することができる。 7. 適応となる疾患の治療方針、治療穴を列挙することができる。	講義
	12	肥満		講義
	13	発熱		講義
	14	疲労と倦怠		講義
	15	不眠		講義
	16	発疹		講義
	17	むくみ【浮腫】		講義
	18	動悸		講義
	19	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	20	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　臨床はりきゅう学

【科目】治効理論Ⅱ

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	かわはた　みつのぶ 川畑　充伸	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	鍼灸刺激に対する感受性、反応(反射)、などの自然治癒力にかかわる西洋医学的な生体メカニズムを学ぶことで鍼灸施術の治効を理解する。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	鍼灸施術の刺激に対する生体反応理解するために、治効メカニズムを学修する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、年間の定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・臨床はき学・治効理論Ⅱの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） HR での講義形式にて、機能・用語の理解に重点を置き、解説を行います。成績不良者もしくは希望者については適宜補習を行う予定です。授業中の私語、携帯電話などの不必要な使用に関しては対処します。 なお、本科目の単位取得のためには、授業の70%以上の出席が必要ですので、 体調管理をしっかり行い、出欠には十分に留意してください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	鍼灸治効の基礎① 1)感覚について	外部からの刺激に対する反応経路を理解し、説明できる。	講義
	2	鍼灸治効の基礎② 2)触圧覚と筋の伸張刺激と振動について	触圧覚の受容と伝導について説明できる。 筋の伸張刺激と振動について説明できる。	講義
	3	鍼灸治効の基礎③ 3)温度感覚について 4)痛み感覚について	温度感覚の受容と伝導について説明できる。 痛み感覚の受容と伝導について説明できる。	講義
	4	鍼灸治効の基礎④ 5)鍼灸刺激と反射	体性-運動反射について説明できる。 自律神経反射（体性-内臓、内臓-内臓、内臓-体性反射）について説明できる。 軸索反射（フレア現象）について説明できる。	講義
	5	鍼灸治効の基礎⑤ 6)鍼鎮痛について	鍼麻酔について説明できる。 内因性オピオイドペプチドと関連物質について説明できる。	講義
	6	鍼灸治効の基礎⑤ 6)鍼鎮痛について	下行性（上行性）痛覚抑制系について説明できる。 ゲートコントロール説について説明できる。 その他の鎮痛機構について説明できる。	講義
	7			講義
	8	鍼灸治効の基礎⑤ 7)鍼灸施術の治療的作用	鍼灸施術の治療的作用について説明できる。	講義
	9	中間（到達目標達成確認）試験		試験
	10	中間試験の解説・解答　まとめ		講義
	11	鍼灸療法の一般治効理論① 1)自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響	自律神経の概要について説明できる。 自律神経の化学的伝達と受容体について説明できる。 血管の自律神経性調節機構について説明できる。	講義
	12	鍼灸療法の一般治効理論② 2)鍼灸の血流に及ぼす影響 3)鍼灸刺激とポリモーダル受容器	鍼灸の血流に及ぼす影響について説明できる。 鍼灸刺激とポリモーダル受容器について説明できる。	試験
	13	鍼灸療法の一般治効理論③ 4)生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響①	灸療法と炎症について、関連と違いを説明できる。 炎症反応と各種メディエーターについて、反応を理解し、産生物等を説明できる。	講義
	14	鍼灸療法の一般治効理論④ 4)生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響②	各灸術による生体防御機構に及ぼす影響について説明できる。 鍼刺激による免疫系への影響について説明できる。	講義
	15	鍼灸療法の一般治効理論⑤ 5)鍼灸刺激と神経系・内分泌系・免疫系の相互作用	鍼灸刺激と神経系・内分泌系・免疫系の相互作用について説明できる。	講義
	16	関連学説① 1)ｻｲﾊﾞﾈﾃｨｯｸｽ　2)ﾎﾒｵｽﾀｼｽ	サイバネティックスについて説明できる。 ホメオスタシスについて説明できる。 緊急反応について説明できる。	講義
	17	関連学説② 3)ｽﾄﾚｽ学説　4)ﾎﾒｵｽﾀｼｽ	ストレス学説（汎適応症候群）について説明できる。 レイリー現象（過剰刺激症候群）について説明できる。	講義
	18	関連学説③ 5)圧発汗反射	圧発汗反射（交叉性交感神経反射）の学説について説明できる。	講義
	19	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	20	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　社会はり学、社会きゅう学

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】社会はき学

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	かわはた　みつのぶ 川畑　充伸	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	現代社会において、特に高齢者、子ども、女性、スポーツ傷害に対するはり師、きゅう師（以下、はき師）の業務、役割、特有な疾患の治療について概説する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	現代社会において鍼灸治療の需要が増えている高齢者、子ども、女性、スポーツ傷害の治療に対応するために、その世代や状況にみられる身体の特徴や特有な疾患について学び、安全かつ有効に治療するための知識を習得することができる。

【担当教員から】

教科書	１．社会あはき学：東洋療法学校協会　編 ２．東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉：東洋療法学校協会　編
参考書	１．『コメディカルのための専門基礎分野テキスト』老年医学：中外医学社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、定期試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 定期(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	定期(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。この科目は専門分野・社会はき学・社会はき学の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。 ２．授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 ３．東洋医学・現代医学の両側面から授業を行うことがあるので、混同しないように注意して下さい。 ４．体調管理をしっかりと行い、授業の出席には十分留意して下さい。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	高齢社会におけるはき師の役割①	高齢者特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	2	高齢社会におけるはき師の役割②		講義
	3	高齢社会におけるはき師の役割③		講義
	4	高齢社会におけるはき師の役割④		講義
	5	高齢社会におけるはき師の役割⑤		講義
	6	スポーツ傷害に対するはき師の役割①	身体各部のスポーツ傷害の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	7	スポーツ傷害に対するはき師の役割②		講義
	8	スポーツ傷害に対するはき師の役割③		講義
	9	中間（到達目標達成確認）試験		試験
	10	中間試験の解説・解答　まとめ		講義
	11	スポーツ傷害に対するはき師の役割④	身体各部のスポーツ傷害の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	12	スポーツ傷害に対するはき師の役割⑤		講義
	13	小児の健康管理	小児特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	14	女性の健康管理①	女性特有の疾患の特徴、症状、治療を列挙できる。	講義
	15	女性の健康管理②		講義
	16	女性の健康管理③		講義
	17	女性の健康管理④		講義
	18	女性の健康管理⑤		講義
	19	期末（到達目標達成確認）試験		試験
	20	期末試験の解説・解答　まとめ		講義

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　専門分野

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】鍼灸実習Ⅳ

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	おぐま　はやと 小熊　勇人（実務経験あり）	
単位数	2 単位			
開講学期	前期	授業形態･回数	講義	40 回

【授業情報】

授業概要	最終学年での応用実技授業として、臨床に出た際に直ぐに使える技術の習得を目指す授業です。２年までの基本的な技術を踏まえて、種々の症候・疾患を想定して具体的な治療を実践するために開業または病院勤務されている教員・講師に教授してもらう。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	臨床に出た際に直ぐに使える技術を習得するために、基礎理論をふまえて各疾患に対し、診察・診断・治療ができる。

【担当教員から】

教科書	１.『東洋医学臨床論　はりきゅう編』; 東洋療法学校協会編（医道の日本社）
参考書	１.『臨床医学各論』; 東洋療法学校協会編（医師薬出版株式会社） ２.『臨床医学総論』; 東洋療法学校協会編（医師薬出版株式会社） 他、授業内で適宜提示します。
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、実技試験を総合的に評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 実技(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験の評価を合計して60%以上で履修とする。【実技認定試験対象科目】この科目は専門分野・鍼灸実習・鍼灸実習Ⅳの単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） 授業は各疾患に対し、現代医学と東洋医学両方の内容から行います。 『臨床医学各論』、『臨床医学総論』『東洋医学臨床論』などを参考に行います。 授業の予習・復習をして授業に臨むなど、積極的な学習姿勢が望まれます。授業では、ノートをとるだけでなく、話をよく聞くこと。 また、東洋医学的考察と現代医学的考察の両方を用います、混同しないようにしてください。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	頭痛①	頭痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	2	頭痛②	頭痛に対する治療を行うことが出来る。	実習
	3	耳鳴り・目眩・難聴①	耳鳴り・目眩・難聴に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	4	耳鳴り・目眩・難聴②	耳鳴り・目眩・難聴に対する治療を行うことが出来る。	実習
	5	眼精疲労・眼痛①	眼精疲労・眼痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	6	眼精疲労・眼痛②	眼精疲労・眼痛に対する治療を行うことが出来る。	実習
	7	高血圧・低血圧①	高血圧・低血圧に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	8	高血圧・低血圧②	高血圧・低血圧に対する治療を行うことが出来る。	実習
	9	顔面神経麻痺①	顔面神経麻痺に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	10	顔面神経麻痺②	顔面神経麻痺に対する治療を行うことが出来る。	実習
	11	鼻閉・鼻汁（花粉症など）①	鼻閉・鼻汁に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	12	鼻閉・鼻汁（花粉症など）②	鼻閉・鼻汁に対する治療を行うことが出来る。	実習
	13	咳嗽・喉の痛み①	咳嗽・喉の痛みに対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	14	咳嗽・喉の痛み②	咳嗽・喉の痛みに対する治療を行うことが出来る。	実習
	15	腹痛・悪心嘔吐①	腹痛・悪心嘔吐に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	16	腹痛・悪心嘔吐②	腹痛・悪心嘔吐に対する治療を行うことが出来る。	実習
	17	食欲不振①	食欲不振に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	18	食欲不振②	食欲不振に対する治療を行うことが出来る。	実習
	19	中間(到達目標達成確認)試験		試験
	20	中間試験の講評　まとめ		実習
	21	下痢・便秘①	下痢・便秘に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	22	下痢・便秘②	下痢・便秘に対する治療を行うことが出来る。	実習
	23	歯痛①	歯痛に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	24	歯痛②	歯痛に対する治療を行うことが出来る。	実習
	25	月経異常（その他の婦人科疾患）①	月経異常に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	26	月経異常（その他の婦人科疾患）②	月経異常に対する治療を行うことが出来る。	実習
	27	泌尿器疾患（排尿困難・頻尿など）①	泌尿器症状に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	28	泌尿器疾患（排尿困難・頻尿など）②	泌尿器症状に対する治療を行うことが出来る。	実習
	29	のぼせ・冷え①	のぼせ・冷えに対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	30	のぼせ・冷え②	のぼせ・冷えに対する治療を行うことが出来る。	実習
	31	帯状疱疹①	帯状疱疹に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	32	帯状疱疹②	帯状疱疹に対する治療を行うことが出来る。	実習
	33	皮膚疾患（アトピー性皮膚炎など）①	皮膚疾患に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	34	皮膚疾患（アトピー性皮膚炎など）②	皮膚疾患に対する治療を行うことが出来る。	実習
	35	不眠症①	不眠症に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	36	不眠症②	不眠症に対する治療を行うことが出来る。	実習
	37	倦怠感・疲労①	倦怠感・疲労に対する基本的な診察を行うことが出来る。	講義･実習
	38	倦怠感・疲労②	倦怠感・疲労に対する治療を行うことが出来る。	実習
	39	期末(到達目標達成確認)試験		試験
	40	期末試験の講評　まとめ		実習
	41	実技認定試験		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部
【分野】　専門分野　鍼灸実習

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】鍼灸臨床実習

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	はたけやま　ひろのり 畠山　博式（実務経験あり）	
単位数	2 単位			
開講学期	前・後期	授業形態･回数	臨床実習	90 時間

【授業情報】

授業概要	外部治療院や学校付属施術所での臨床経験を活かして、はりきゅう施術における基本的臨床能力を身につけさせるために付属施術所内にて臨床実習を行う。 ２年次までに学んだ知識や技能を、附属はり・きゅう施術所に通われている一般患者に対して、学生が診療チームの一員として参加し、教員・臨床実習指導者の指導のもとに許容される一定範囲のはり・きゅう施術を行い、将来はり師・きゅう師となるために必要な知識、技能、態度を修得することを目指すものである。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師としての自立に向け、施術チームの一員として指導教員の指導・監督の下、外来患者の診察、あはき治療の適不適の鑑別、治療計画、基本的治療技能、診療録への記録を含む患者マネジメントを実践し、臨床に携わる者としての態度、ならびに臨床能力の基礎を理解する。

【担当教員から】

教科書	―
参考書	―
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、実技試験、症例報告書等※を総合的に評価する。 ※症例報告書の提出・症例報告の発表、ベッドサイド実習：ルーブリック評価による
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） １．実技(到達目標達成確認)試験 （腰下肢・頸肩腕・肩関節・膝関節の徒手検査法）：25% ２．症例報告書の提出・症例報告の発表：25% ３．ベッドサイド実習：50%
履修の条件 留意点	実技(到達目標達成確認)試験、症例報告書等を合計して60%以上で履修とする。 この科目は専門分野・鍼灸実習・鍼灸臨床実習の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上（うちベッドサイド実習は100%出席）の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．附属施術所での行動内容の確認や身だしなみのチェックをグループ内で行うこと。 ２．実習終了後は、症例報告書の作成を行い、後日指示に従って提出をすること。 ３．施術所で行う臨床実習での遅刻は欠席扱いとします。また、この科目は出席を重視しますので、１回の欠席は通常の２～３倍の総合評価の減点につながりますので、十分に自身の健康管理に留意すること。

	４．全ての臨床実習の出席前に欠席・遅刻となる事象が発生した場合は、事象が判明した時点で直ちに担任・副担任・臨床実習責任者へ連絡すること。 ５．重要掲示板または教室に掲示する「臨床実習日一覧表」を確認して、指定された実習日・集合時間に出席すること。
オフィスアワー	適宜３F 教員室を訪ねること。

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
通期		1. 身体診察方法振り返り (10 時間) 1) 模擬患者を相手に身体診察(徒手検査法を含む)を行う。 2) 身体診察の要点をまとめる。 3) お互いに徒手検査を行う。 2. ロールプレイ実習(20 時間) 1) 小グループごとに模擬症例課題（腰下肢･頚肩腕･肩関節･膝関節）のロールプレイ（①医療面接･問診項目、②医療面接･問診結果からの予測、③身体診察結果予測、④最終的病態把握）を行う。 2) チューター(教員)と課題ごとに討論して、課題を解決していく。 3. 施術所における臨床実習 (10 時間) 1) 小グループによるローテーションとする。 2) 指導教員の下で、施術所一般患者の施術、施術前後の付帯業務を行う。また、状況によっては施術補助を行う。 3) 毎回カルテの下書きを作成し、不明な点を調べて加筆した後、施術所カルテへ記録する。カルテの書き方は SOAP 方式に沿って記載する。	1) 診療を通して患者と良好な人間関係を確立することができる。 2) 患者の抱える問題点に共感することができる。 3) 面接所見をもとに、患者の抱える問題点に対する身体診察を実施できる。 4) 受け持ち患者の抱える問題点に対する治療の適否判断し、施術計画の立案、治療穴の選定ができる。 5) 患者に対し、インフォームド・コンセントが行える。 6) 患者に不快な思いを与えずに、安全性、消毒・清潔操作に配慮し刺鍼・施灸することが できる。 7) 各症例に基づいて問題解決を行うことができる。 8) 治療効果を判定することができる。 9) 治療中のアクシデントに適切に対応することができる。 10) 一般患者臨床の診療録を POMR と SOAP で作成できる。 11) 受け持ち患者の情報を要約して、簡潔に提示できる。 12) 受け持ち患者の症例をまとめて症例報告書を作成することができる。 13) 症例を検討することができる。 14) 自己の臨床能力を評価できる。 15) 他からの臨床能力評価を受け入れる。	臨床実習又は演習

		4.クルズス ※上記3と同時に行う 1)観察・施術補助した症例あるいは与えられた課題疾患について調べる。 2)施術担当者または指導教員と症例あるいは課題について討論して意見交換を行う。 3)指定のポートフォリオを作成し、レポートとして提出する。 5.カンファレンス(25時間) 1)上記3で記録したカルテをもとにグループで症例報告書を作成する。 2)症例報告書をもとにプレゼン資料を作成する。 3)配布資料にもとづいて発表をする。 4)討論して意見交換を行う。 6.症例実技供覧(25時間) 1)上記5の施術内容の実技デモンストレーションを代表グループが行い、その内容を各グループで実際に行い、教員から実技指導を受ける。 2)施術内容について討論して意見交換を行う。		

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座１（衛生学・公衆衛生学）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	あいだ　のりこ 相田　典子	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	10 回

【授業情報】

授業概要	衛生統計、疫学、健康の概念、疾病の予防と健康管理、感染症と消毒方法、環境衛生、労働衛生等の事項を「国民衛生の動向」等の資料に基づいて学習し、母子保健、成人・高齢者保健、精神衛生、生活環境・食品衛生、保健医療制度等の事項を総括的に学んでいく。
授業の一般目標 （ＧＩＯ）	はり師・きゅう師として、施術を安全かつ衛生的に遂行する上での規準・規定を理解する。 日常生活で健康を維持、増進するために必要な概念を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．「衛生学・公衆衛生学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１．「国民衛生の動向」　厚生統計協会
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「衛生学・公衆衛生学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「衛生学・公衆衛生学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座１の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「衛生学」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	衛生学的統計①	わが国の様々な衛生学的統計を理解できる。	講義
	2	健康・ライフスタイル	健康の定義について概説できる。 健康の増進について概説できる。 疾病予防について概説できる。 健康日本２１について概説できる。 健康と食生活について概説できる。	講義・演習
	3	環境と健康	日常生活環境について概説できる。 各種環境要因について概説できる。 公害について概説できる。 環境問題について概説できる。	講義・演習
	4	産業保健、精神保健	産業保健について概説できる。 精神保健について概説できる。	講義・演習
	5	母子保健、成人･高齢者保健	母子保健について概説できる。 成人･高齢者保健について概説できる。	講義・演習
	6	感染症、消毒法	感染症について概説できる。 消毒法について概説できる。	講義・演習
	7	疫学	疫学について概説できる。	講義・演習
	8	問題演習①	国家試験に向けての重要ポイントが理解できる。 四者択一問題の解答を導き出すことができる。	演習
	9	問題演習②		演習
	10	問題演習③		演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座２（医療概論・関係法規）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	あいだ　のりこ 相田　典子	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	10 回

【授業情報】

授業概要	医師法などの医療に従事する者の身分法や医療法・医薬品医療機器等法を学習する。また、１・２年で学習した医療保険・介護保険等の社会保障制度について「国民衛生の動向」等の資料に基づいて総括的に学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	はり師・きゅう師として、施術を安全かつ衛生的に遂行する上で必要な法規・保健医療制度と倫理観を理解する。

【担当教員から】

教科書	１.「関係法規」第７版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「国民衛生の動向」　厚生統計協会
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「医療概論・関係法規」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「医療概論・関係法規」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座２の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「医療概論、関係法規」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	衛生学的統計①	わが国の様々な衛生学的統計を理解できる。	講義
	2	健康・ライフスタイル	健康の定義について概説できる。 健康の増進について概説できる。 疾病予防について概説できる。 健康日本２１について概説できる。 健康と食生活について概説できる。	講義・演習
	3	環境と健康	日常生活環境について概説できる。 各種環境要因について概説できる。 公害について概説できる。 環境問題について概説できる。	講義・演習
	4	産業保健、精神保健	産業保健について概説できる。 精神保健について概説できる。	講義・演習
	5	母子保健、成人･高齢者保健	母子保健について概説できる。 成人･高齢者保健について概説できる。	講義・演習
	6	感染症、消毒法	感染症について概説できる。 消毒法について概説できる。	講義・演習
	7	疫学	疫学について概説できる。	講義・演習
	8	問題演習①	国家試験に向けての重要ポイントが理解できる。 四者択一問題の解答を導き出すことができる。	演習
	9	問題演習②		演習
	10	問題演習③		演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座３（解剖学）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	さかもと　しゅうじ 坂本 收司	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	各器官における生体の構造を理解した上で、器官相互の有機的な繋がりを学び、はり師・きゅう師の分野で必要な解剖学的知識を総括的に学習する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１・２年で学習してきた各器官・器官系の細かな構造と構成およびその機能と調節機序との関連性を結びつけて整理し、人体の正常な状態と異常な状態との違いを理解する。

【担当教員から】

教科書	１.「解剖学」第２版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「解剖学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「解剖学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座３の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「解剖学」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	解剖学基礎	解剖学の基礎について概説できる。	講義・演習
	2	骨	骨系について概説できる。	講義・演習
	3	骨格筋①	骨格筋系（上肢）について概説できる。	講義・演習
	4	骨格筋②	骨格筋系（下肢）について概説できる。	講義・演習
	5	神経系①	中枢神経系について概説できる。	講義・演習
	6	神経系②	末梢神経系（脳神経）について概説できる。	講義・演習
	7	神経系③	末梢神経系（脊髄神経・自律神経）について概説できる。	講義・演習
	8	脈管系	脈管系について概説できる。	講義・演習
	9	呼吸器系	呼吸器系について概説できる。	講義・演習
	10	消化器系	消化器系について概説できる。	講義・演習
	11	泌尿器系	泌尿器系について概説できる。	講義・演習
	12	生殖器系	生殖器系について概説できる。	講義・演習
	13	内分泌系	内分泌系について概説できる。	講義・演習
	14	感覚系	感覚系について概説できる。	講義・演習
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座４（生理学）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	おぐま　はやと 小熊　勇人	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	各器官における生体の機能を理解した上で、器官相互の有機的な繋がりを学び、はり師・きゅう師の分野で必要な生理学的知識を総括的に学習する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１・２年で学習してきた各器官・器官系の細かな構造と構成およびその機能と調節機序との関連性を結びつけて整理し、人体の正常な状態と異常な状態との違いを理解する。

【担当教員から】

教科書	１.「生理学」第３版　東洋療法学校協会編　医歯薬出版(株)
参考書	１.「人体の正常構造と機能」　日本医事新報社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「生理学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「生理学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座４の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「生理学」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	生理学基礎	生理学の基礎について概説できる。	講義・演習
	2	循環・血液	循環系（血液）について概説できる。	講義・演習
	3	呼吸	呼吸器系について概説できる。	講義・演習
	4	筋と身体運動	骨格筋と運動について概説できる。	講義・演習
	5	消化・吸収	消化器系について概説できる。	講義・演習
	6	排泄	泌尿器系について概説できる。	講義・演習
	7	内分泌	内分泌系について概説できる。	講義・演習
	8	生殖と成長	生殖器系について概説できる。	講義・演習
	9	代謝と体温	代謝について概説できる。	講義・演習
	10	神経①	神経の機能について概説できる。	講義・演習
	11	神経②	中枢神経について概説できる。	講義・演習
	12	筋と身体運動	骨格筋の機能について概説できる。	講義・演習
	13	感覚	感覚器系について概説できる。	講義・演習
	14	生体防御機構	生体防御機能について概説できる。	講義・演習
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座５（病理学）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	にしおか　たけゆき 西岡 岳之	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	10 回

【授業情報】

授業概要	各器官における生体の構造と機能を理解した上で、病気の原因と発生機序を学び、はり師・きゅう師の分野で必要な病理学的知識を総括的に学習する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１・２年で学習してきた各器官・器官系の細かな構造と構成およびその機能と調節機序との関連性を結びつけて整理し、疾患の発生機序を理解する。

【担当教員から】

教科書	「病理学概論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「病理学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「病理学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座５の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「病理学」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	病因	病因について概説できる。	講義・演習
	2	循環障害	循環障害について概説できる。	講義・演習
	3	退行性病変	退行性病変について概説できる。	講義・演習
	4	進行性病変	進行性病変について概説できる。	講義・演習
	5	炎症	炎症について概説できる。	講義・演習
	6	腫瘍	腫瘍について概説できる。	講義・演習
	7	免疫異常・アレルギー	免疫異常について概説できる。 アレルギーについて概説できる。	講義・演習
	8	先天性異常	先天性異常について概説できる。	講義・演習
	9	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	講義・演習
	10	問題演習②		講義・演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座６（臨床医学総論）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	ふかやま　ちとせ 深山　千歳	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	各器官における生体の構造と機能を理解した上で、病態を把握する際に必要な医療面接・問診、身体診察・検査項目を学び、はり師・きゅう師の分野で必要な診察学的知識を総括的に学習する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１・２年で学習してきた各臓器の構造とその機能及び調節機序と疾患との関連性を結びつけて整理し、病態把握に向けた各診察・検査法を理解する。

【担当教員から】

教科書	「臨床医学総論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「臨床医学総論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「臨床医学総論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座６の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「臨床医学総論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	診察の概要・診察の方法	診察の概要・診察の方法について概説できる。	講義･演習
	2	生命徴候の診察	生命徴候(バイタルサイン)について概説できる。	講義･演習
	3	全身の診察①	顔貌について概説できる。 精神状態について概説できる。 言語の理解や発語について概説できる。 身体計測、身体状況について概説できる。 姿勢・体位・歩行について概説できる。 体表の診察について概説できる。	講義･演習
	4	全身の診察②		講義･演習
	5	全身の診察③		講義･演習
	6	局所の診察①	頭部から趾先まで各局所の診察についてそれぞれ概説できる。	講義･演習
	7	局所の診察②		講義･演習
	8	神経系の診察①	神経系の診察（各種検査法）について概説できる。	講義･演習
	9	神経系の診察②		講義･演習
	10	神経系の診察③		講義･演習
	11	運動機能検査	運動機能検査について概説できる。	講義･演習
	12	その他の診察	一般検査について概説できる。 血液生化学検査について概説できる。 生理学的検査について概説できる。 画像診断の概要について概説できる。	講義･演習
	13	臨床検査法	臨床検査法について概説できる。	講義･演習
	14	治療学	治療法の種類について概説できる。 各種療法について概説できる。	講義･演習
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することが出来る。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座７（臨床医学各論）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	いけざき　そのえ 池崎 園江	
単位数	2 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	各器官における生体の構造と機能を理解した上で、病態を把握する際に必要な医療面接・問診、身体診察・検査項目を学び、はり師・きゅう師の分野で必要な診察学的知識を総括的に学習する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１・２年で学習してきた各臓器の構造とその機能及び調節機序と疾患との関連性を結びつけて整理し、病態把握に向けた各診察・検査法を理解する。

【担当教員から】

教科書	「臨床医学各論」東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「臨床医学各論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「臨床医学各論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座７の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「疾病各論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	感染症のまとめ	感染症について概説できる。	講義・演習
	2	消化器疾患のまとめ①	消化器疾患について概説できる。	講義・演習
	3	消化器疾患のまとめ②		講義・演習
	4	呼吸器疾患のまとめ	呼吸器疾患について概説できる。	講義・演習
	5	循環器疾患のまとめ	循環器疾患について概説できる。	講義・演習
	6	内分泌・アレルギー疾患のまとめ①	内分泌について概説できる。 アレルギー疾患について概説できる。	講義・演習
	7	内分泌・アレルギー疾患のまとめ②		講義・演習
	8	腎・尿路疾患のまとめ	腎・尿路疾患について概説できる。	講義・演習
	9	神経系疾患のまとめ①	神経系疾患について概説できる。	講義・演習
	10	神経系疾患のまとめ②		講義・演習
	11	運動器疾患のまとめ①	運動器疾患について概説できる。	講義・演習
	12	運動器疾患のまとめ②		講義・演習
	13	外科総論のまとめ	外科総論について概説できる。	講義・演習
	14	麻酔・ペインクリニックのまとめ	麻酔・ペインクリニックについて概説できる。	講義・演習
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することが出来る。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座８（リハビリテーション医学）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	にしおか　たけゆき 西岡 岳之	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	10 回

【授業情報】

授業概要	各器官における生体の構造と機能を理解した上で、病態そのものを学び、はり師・きゅう師の分野で必要なリハビリテーション学的知識を総括的に学習する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１・２年で学習してきた各臓器の構造とその機能及び調節機序と疾患との関連性を結びつけて整理し、リハビリテーションの概要を理解する。

【担当教員から】

教科書	『リハビリテーション医学』東洋療法学校協会編　医歯薬出版（株）
参考書	『標準リハビリテーション医学』医学書院
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「リハビリテーション医学」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「リハビリテーション医学」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座８の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので､体調管理をしっかりと行い､授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「リハビリテーション医学」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	リハビリテーション総説	基本理念、国際生活機能分類、リハビリテーション医学の概念が概説出来る。	講義
	2		心身機能・身体構造、活動の評価、合併症、運動麻痺の評価、運動年齢テスト、高次脳機能評価、摂食嚥下障害等　障害の評価が概説出来る。	講義
	3		理学療法、作業療法、言語聴覚療法、装具療法が概説出来る。	講義
	4	各疾患のリハビリテーション	脳卒中の機能障害、対応が概説出来る。	講義
	5		脊髄損傷の機能障害、対応が概説出来る。	講義
	6		切断、脳性麻痺の機能障害、対応が概説出来る。	講義
	7		骨関節疾患、関節リウマチの症状、評価、対応、生活指導が概説出来る。	講義
	8		末梢神経障害、パーキンソン病の症状と対応が概説出来る。	講義
	9		呼吸器・心疾患の評価、対応、リスク管理が概説出来る。	講義
	10	運動の仕組み	運動学、身体各部の機能が概説出来る。	講義
	11	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座９（東洋医学概論）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	さかもと　たつのり 坂本 辰徳	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	10 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学的な生体の構造と機能を理解した上で、東洋医学的な病態とその診察法を学び、はり師・きゅう師の分野で必須な東洋医学的知識を総括的に学習する。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１・２年で学習してきた東洋医学的な生体の構造と機能と東洋医学的な病態との関連性を結びつけて整理し、東洋医学的に正常な状態と異常な状態との違いを理解する。

【担当教員から】

教科書	新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ２．「東洋医学臨床論」〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ３．「東洋医学臨床論」〈あん摩マッサージ指圧偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「東洋医学概論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「東洋医学概論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座９の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「東洋医学概論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	陰陽論・五行説	陰陽論・五行説について概説できる。	講義・演習
	2	気血津液の生理	気血津液の生理について概説できる。	講義・演習
	3	六臓六腑	六臓六腑について概説できる。	講義・演習
	4	臓腑経絡論・病因論	臓腑経絡論ついて概説できる。病因について概説できる。	講義・演習
	5	病理・病証	病理・病証について概説できる。	講義・演習
	6	東洋医学的診察法と証の立て方	東洋医学的診察法と証の立て方について概説できる。	講義・演習
	7	治療法	治療法について概説できる。	講義・演習
	8	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	9	問題演習②		演習
	10	問題演習③		演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座１０（経絡経穴概論）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	さかもと　たつのり 坂本 辰徳	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	10 回

【授業情報】

授業概要	東洋医学的な生体の構造と機能を理解した上で、はり師・きゅう師の分野で必須な経絡・経穴の知識を総括的に学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	１・２年で学習してきた東洋医学的な生体の構造と機能と経絡・経穴との関連性を結びつけて整理し、はり・きゅうの施術に必要な経絡・経穴を理解する。

【担当教員から】

教科書	経絡経穴概論：東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	WHO 経穴部位日本語公式版
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「経絡経穴概論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「経絡経穴概論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座10の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「経絡経穴概論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	上肢の経穴	上肢の経穴について概説できる。	講義・演習
	2	下肢の経穴	下肢肢の経穴について概説できる。	講義・演習
	3	体幹部の経穴①	体幹部（背側）の経穴について概説できる。	講義・演習
	4	体幹部の経穴②	体幹部（腹側）の経穴について概説できる。	講義・演習
	5	顔面・頚部の経穴	顔面・頚部の経穴について概説できる。	講義・演習
	6	要穴、骨度法・現代医学	要穴・骨度法・現代医学について概説できる。	講義・演習
	7	奇穴	奇穴について概説できる。	講義・演習
	8	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	9	問題演習②		演習
	10	問題演習③		演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座１１（東洋医学臨床論）

【基本情報】

配当年次	３学年	担当教員	かわすみ　ゆうこ 川澄 裕子	
単位数	２単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	20 回

【授業情報】

授業概要	臨床上遭遇しやすい症候に対して、西洋医学と東洋医学の両方の側面から原因疾患を捉え、はり師・きゅう師として適切な施術が行えるよう総括的に学んでいく
授業の一般目標（ＧＩＯ）	３年前期までに学習してきた生体の構造と機能及び病態との関連性を西洋医学と東洋医学の両方の側面から結びつけて整理し、治療原則を理解する。

【担当教員から】

教科書	１．「東洋医学臨床論」〈はりきゅう偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社 ２．「東洋医学臨床論」〈あん摩マッサージ指圧偏〉；東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．新版　東洋医学概論；東洋療法学校協会編 ２．新版　経絡経穴概論；東洋療法学校協会編 ３．リハビリテーション医学　第４版　；東洋療法学校協会編
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「東洋医学臨床論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「東洋医学臨床論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座11の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「東洋医学臨床論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	治療原則	治療原則について概説できる。	講義・演習
	2	頭痛・顔面痛	頭痛・顔面痛について概説できる。	講義・演習
	3	顔面麻痺・歯痛・眼精疲労	顔面麻痺について概説できる。 歯痛について概説できる。 眼精疲労について概説できる。	講義・演習
	4	脱毛症・めまい・鼻閉・鼻汁	脱毛症について概説できる。 めまいについて概説できる。 鼻閉・鼻汁について概説できる。	講義・演習
	5	耳鳴り・難聴・咳嗽・喘息	耳鳴り・難聴について概説できる。 咳嗽・喘息について概説できる。	講義・演習
	6	胸痛・腹痛・悪心と嘔吐	胸痛について概説できる。 腹痛について概説できる。 悪心と嘔吐について概説できる。	講義・演習
	7	便秘と下痢・月経異常・排尿障害・インポテンツ	便秘と下痢について概説できる。 月経異常について概説できる。 排尿障害・インポテンツについて概説できる。	講義・演習
	8	肩こり・頚肩腕痛	肩こり・頚肩腕痛について概説できる。	講義・演習
	9	肩関節痛・上肢痛	肩関節痛について概説できる。 上肢痛について概説できる。	講義・演習
	10	腰下肢痛・膝痛	腰下肢痛について概説できる。 膝痛について概説できる。	講義・演習
	11	運動麻痺・高血圧・低血圧	運動麻痺について概説できる。 高血圧・低血圧について概説できる。	講義・演習
	12	食欲不振・肥満・発熱	食欲不振・肥満について概説できる。 発熱について概説できる。	講義・演習
	13	のぼせと冷え・不眠・疲労と倦怠・発疹	のぼせと冷えについて概説できる。 不眠について概説できる。疲労と倦怠・発疹について概説できる。	講義・演習
	14	スポーツ傷害、小児の症状・老年医学	スポーツ傷害について概説できる。 小児の症状について概説できる。 老年医学について概説できる。	講義・演習
	15	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	16	問題演習②		演習
	17	問題演習③		演習
	18	問題演習④		演習
	19	問題演習⑤		演習
	20	問題演習⑥		演習
	21	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座１２（はり理論）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	かわはた　みつのぶ 川畑　充伸	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	10 回

【授業情報】

授業概要	各器官における生体の構造と機能を理解した上で、はり師・きゅう師の分野で必要なはり施術によって促される西洋医学的な生体メカニズムを総括的に学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	はり施術の刺激に対する生体反応理解するために、治効メカニズムを理解する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「はり理論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「はり理論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座12の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「はり理論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
後期	1	鍼の基礎知識	鍼の基礎知識について概説できる。	講義・演習
	2	刺鍼の方式と術式、特殊鍼法	刺鍼の方式と術式について概説できる 特殊鍼法について概説できる。	講義・演習
	3	鍼の臨床応用とリスク管理	鍼の臨床応用について概説できる。 鍼のリスク管理について概説できる。	講義・演習
	4	鍼治効の基礎①	鍼治効の基礎について概説できる。	講義・演習
	5	鍼治効の基礎②		講義・演習
	6	鍼療法の一般治効理論①	鍼療法の一般治効理論について概説できる。	講義・演習
	7	鍼療法の一般治効理論②		講義・演習
	8	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	9	問題演習②		演習
	10	問題演習③		演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験

2019 年度　鍼灸科Ⅱ部

【分野】　専門分野　総合領域

KURETAKE SCHOOL OF INTEGRATIVE MEDICINE

【科目】総合講座１３（きゅう理論）

【基本情報】

配当年次	3 学年	担当教員	かわはた　みつのぶ 川畑　充伸	
単位数	1 単位			
開講学期	後期	授業形態･回数	講義	10 回

【授業情報】

授業概要	各器官における生体の構造と機能を理解した上で、はり師・きゅう師の分野で必要なきゅう施術によって促される西洋医学的な生体メカニズムを総括的に学んでいく。
授業の一般目標（ＧＩＯ）	きゅう施術の刺激に対する生体反応理解するために、治効メカニズムを理解する。

【担当教員から】

教科書	１．はりきゅう理論　東洋療法学校協会編　医道の日本社
参考書	１．鍼灸医療安全ガイドライン　医歯薬出版(株)
成績評価基準	シラバスで明示した到達目標を達成しているかを、期末試験に代わって実施される三次卒業試験の「きゅう理論」の範囲の結果で評価する。
成績評価方法	成績評価の算定方法（評価割合：%） 期末(到達目標達成確認)試験：100%
履修の条件 留意点	期末(到達目標達成確認)試験に代わって実施される三次卒業試験の「きゅう理論」の範囲の評価60%以上により履修とする。【卒業試験対象科目】この科目は専門分野・総合領域・総合講座13の単位として認定されます。本科目の単位取得のためには、全授業数の70%以上の出席が必要。欠席、遅刻や早退などは授業内容が理解できなくなるので、体調管理をしっかりと行い、授業の出欠には十分留意すること。
担当教員 	★授業時間外に必要な学習内容（担当者からのメッセージ） １．今までに学んだ「きゅう理論」の内容を理解している前提で授業を行うので、授業の前までに復習しておくこと。 ２．授業前に各単元の問題を配付し、各自事前に問いてきたものを基に、総復習をして行きます。
オフィスアワー	授業開講日の 17：45～18：00　３Ｆ教員室

【授業計画】

学期	回数	講義内容	到達目標（ＳＢＯｓ）	講義形態
前期	1	灸の基礎知識と灸術の種類	灸の基礎知識について概説できる。 灸術の種類について概説できる。	講義・演習
	2	灸の臨床応用とリスク管理	灸の臨床応用について概説できる。 灸のリスク管理について概説できる。	講義・演習
	3	灸治効の基礎①	灸治効の基礎について概説できる。	講義・演習
	4	灸治効の基礎②		講義・演習
	5	灸療法の一般治効理論①	灸療法の一般治効理論について概説できる。	講義・演習
	6	灸療法の一般治効理論②		講義・演習
	7	関連学説（はり理論も含む）	関連学説について概説できる。	講義・演習
	8	問題演習①	四者択一問題の解答を導き出すことができる。 誤解答の場合、その理由を理解することができる。	演習
	9	問題演習②		演習
	10	問題演習③		演習
	11	期末(到達目標達成確認)試験（三次卒業試験）		試験